令和９年度

一般選抜

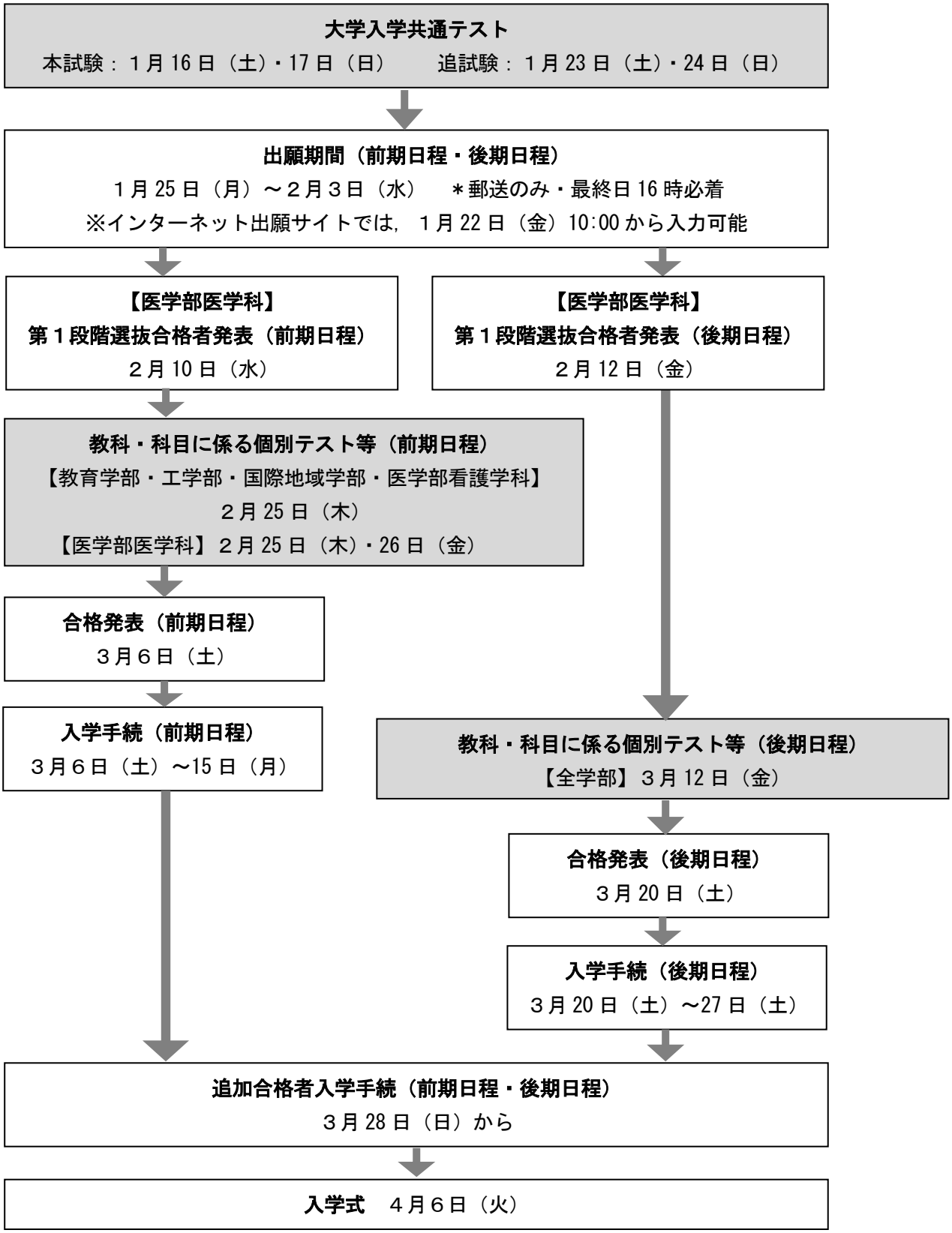
前期日程・後期日程

学生募集要項

令和８年１１月

格致によりて 人と社会の未来を拓く
国立大学法人
福井大学
UNIVERSITY OF FUKUI

令和９年度 福井大学入学者選抜（一般選抜）日程の概要



＜注意＞

・本入試に関するすべての事項は，志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって，必ず本人の責任で確認してください。

・この学生募集要項以外に重要な通知がある場合や，受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合は，本学ホームページの「受験生の方へ」のページでお知らせします。
［福井大学ホームページ　https://www.u-fukui.ac.jp/］

・電話での照会は，祝日及び年末年始を除く，月～金曜日の 9:00～17:00 に，この学生募集要項を参照の上，必ず**志願者本人が**行ってください。

目　　次

Ⅰ　共通事項

１．入学定員及び募集人員 …… 1
（１）教育学部学校教育課程の選抜方法等
（２）工学部の所属コース等の決定
２．入学者選抜方法等 …… 4
３．出願資格 …… 4
４．出願手続 …… 5
（１）出願期間
（２）出願方法
（３）出願書類等
（４）検定料の支払方法
（５）受験票の印刷
５．試験場 …… 11
６．試験当日等の注意事項 …… 12
７．合格者発表 …… 14
８．入学手続 …… 14
（１）入学手続期間
（２）入学手続方法
（３）入学手続書類等の送付先
（４）入学手続時に要する経費
（５）留意事項
（６）入学料・授業料の減免，多子世帯無償化，及び徴収猶予制度について
９．欠員補充の方法 …… 16
（１）追加合格
（２）欠員補充第２次募集
10．障がいのある入学志願者等の事前相談 … 16
11．入学検定料免除（返還） …… 17
12．一般選抜における個人成績の開示 …… 17
13．個人情報の利用 …… 18
14．入試過去問題活用宣言への参加 …… 18

Ⅱ　教育学部

１．アドミッション・ポリシー …… 19
２．教科・科目に係る個別テスト等の日程 … 23
３．入学者選抜方法等 …… 23
４．小論文，面接の内容（出題方針）等 …… 24
５．実技検査内容 …… 24
６．注意事項 …… 25
７．入学者選抜の実施教科・科目，配点等 … 27

Ⅲ　医学部

１．アドミッション・ポリシー …… 29
２．教科・科目に係る個別テスト等の日程 … 34
３．入学者選抜方法等 …… 34
４．小論文，面接の内容（出題方針）等 …… 35
５．注意事項 …… 35
６．入学者選抜の実施教科・科目，配点等 … 36

Ⅳ　工学部

１．アドミッション・ポリシー …… 37
２．教科・科目に係る個別テスト等の日程 … 42
３．入学者選抜方法等 …… 42
４．面接の内容（出題方針）等 …… 42
５．注意事項 …… 43
６．入学者選抜の実施教科・科目，配点等 … 44

Ⅴ　国際地域学部

１．アドミッション・ポリシー …… 46
２．教科・科目に係る個別テスト等の日程 … 49
３．入学者選抜方法等 …… 49
４．小論文，面接の内容（出題方針）等 …… 49
５．注意事項 …… 50
６．入学者選抜の実施教科・科目，配点等 … 51

Ⅵ　福井大学案内

１．目的及び使命 …… 52
２．学部の紹介 …… 52
３．入学時の諸経費 …… 55
４．学生生活 …… 55

福井大学キャンパス建物配置図 …… 58
福井大学位置図 …… 61

Ⅰ　共通事項

１．入学定員及び募集人員

<table>
<tr><th rowspan="3">学部</th><th rowspan="3" colspan="2">学科・課程・コース等</th><th rowspan="3">入学定員</th><th colspan="11">募　集　人　員</th></tr>
<tr><th colspan="4">一般選抜</th><th colspan="4">学校推薦型選抜</th><th colspan="2">総合型選抜</th><th rowspan="2">私費外国人留学生選抜</th></tr>
<tr><th colspan="2">前期日程</th><th colspan="2">後期日程</th><th colspan="2">学校推薦型選抜Ⅰ</th><th colspan="2">学校推薦型選抜Ⅱ</th><th>総合型選抜Ⅰ</th><th>総合型選抜Ⅱ</th></tr>
<tr><td rowspan="6">教育学部</td><td rowspan="5">学校教育課程</td><td>初等教育コース</td><td rowspan="2">100</td><td>文系型</td><td>13</td><td rowspan="4">統合型</td><td rowspan="4">9</td><td rowspan="4">高大接続型（福南地域枠）</td><td rowspan="4">6</td><td>面接型（総合）</td><td>10</td><td rowspan="3">実技型（美術）</td><td rowspan="3">1</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">理系型</td><td rowspan="3">11</td><td>面接型（特別支援）</td><td>5</td></tr>
<tr><td rowspan="3">実技型（音楽）</td><td rowspan="3">2</td><td rowspan="3">面接型（家庭）</td><td rowspan="3">1</td></tr>
<tr><td>実技型（体育）</td><td>2</td></tr>
<tr><td colspan="14">60</td></tr>
<tr><td>中等教育コース</td><td rowspan="2">100</td><td>文系型</td><td>8</td><td rowspan="4">統合型</td><td rowspan="4">4</td><td rowspan="2">高大接続型（福南地域枠）</td><td rowspan="2">4</td><td>面接型（総合）</td><td>4</td><td rowspan="3">実技型（美術）</td><td rowspan="3">2</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4"></td></tr>
<tr><td>理系型</td><td>8</td><td rowspan="3">面接型（家庭）</td><td rowspan="3">2</td></tr>
<tr><td>実技型（音楽）</td><td>1</td><td>実技型（技術）</td><td>2</td></tr>
<tr><td>実技型（体育）</td><td>3</td><td>実技型（音楽）</td><td>2</td></tr>
<tr><td colspan="14">40</td></tr>
<tr><td colspan="2">教育学部　計</td><td>100</td><td>48</td><td colspan="2">13</td><td colspan="2">14</td><td colspan="2">22</td><td>3</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="3">医学部</td><td colspan="2">医　学　科</td><td>114</td><td>55</td><td colspan="2">25</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">34</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">看　護　学　科</td><td>60</td><td>30</td><td colspan="2">5</td><td colspan="2">25</td><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">医学部　計</td><td>174</td><td>85</td><td colspan="2">30</td><td colspan="2">25</td><td colspan="2">34</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="6">工学部</td><td colspan="2">機械・システム工学科</td><td>155</td><td>75</td><td colspan="2">30</td><td colspan="2">20</td><td colspan="2" rowspan="5"></td><td rowspan="5"></td><td>30</td><td rowspan="5">各学科若干名</td></tr>
<tr><td colspan="2">電気電子情報工学科</td><td>125</td><td>63</td><td colspan="2">37</td><td colspan="2">10</td><td colspan="2">15</td></tr>
<tr><td colspan="2">建築・都市環境工学科</td><td>60</td><td>30</td><td colspan="2">17</td><td colspan="2">3</td><td colspan="2">10</td></tr>
<tr><td colspan="2">物質・生命化学科</td><td>135</td><td>75</td><td colspan="2">30</td><td colspan="2">10</td><td colspan="2">20</td></tr>
<tr><td colspan="2">応用物理学科</td><td>50</td><td>20</td><td colspan="2">20</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">10</td></tr>
<tr><td colspan="2">工学部　計</td><td>525</td><td>263</td><td colspan="2">134</td><td colspan="2">43</td><td colspan="2">—</td><td>—</td><td>85</td><td>若干名</td></tr>
<tr><td>国際地域学部</td><td colspan="2">国際地域学科</td><td>60</td><td>30</td><td colspan="2">12</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">10</td><td>8</td><td></td><td>若干名</td></tr>
<tr><td colspan="2">合　計</td><td>859</td><td>426</td><td colspan="2">189</td><td colspan="2">82</td><td colspan="2">66</td><td>11</td><td>85</td><td rowspan="2">若干名</td></tr>
<tr><td colspan="6"></td><td colspan="4">148</td><td colspan="2">96</td></tr>
</table>

注１．教育学部の前期日程，後期日程，学校推薦型選抜Ⅰ，学校推薦型選抜Ⅱ，総合型選抜Ⅰの選抜方法については，次頁の「（１）教育学部学校教育課程の選抜方法等」によるものとします。

２．学校推薦型選抜・総合型選抜の入学手続者数が募集人員に満たない場合は，一般選抜（前期日程）からその不足分を補充します。

（１）教育学部学校教育課程の選抜方法等

○募集人員，志願方法，選抜方法等

前期日程

選抜区分	コース	募集人員		選抜グループ及び選抜方法
文系型	初等教育コース	13名	21名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ，中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。 2. 初等教育コース，中等教育コースの志願者を文系型，理系型，実技型(音楽)，実技型(体育)の選抜区分ごとに選抜を行い，所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。
	中等教育コース	8名		
理系型	初等教育コース	11名	19名	
	中等教育コース	8名		
実技型(音楽)	初等教育コース	2名	3名	
	中等教育コース	1名		
実技型(体育)	初等教育コース	2名	5名	
	中等教育コース	3名		
学校教育課程　前期日程　計		48名		

後期日程

選抜区分	コース	募集人員		選抜グループ及び選抜方法
統合型	初等教育コース	9名	13名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ，中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。 2. 初等教育コース，中等教育コースの志願者を統合型の選抜区分で選抜を行い，所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。
	中等教育コース	4名		
学校教育課程　後期日程　計		13名		

学校推薦型選抜Ⅰ

選抜区分	コース	募集人員		選抜グループ及び選抜方法
高大接続型 (嶺南地域枠)	初等教育コース	6名	10名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ，中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。 2. 初等教育コース，中等教育コースの志願者を高大接続型(嶺南地域枠)の選抜区分で選抜を行い，合格者を決定します。
	中等教育コース	4名		
実技型(技術)	中等教育コース	2名		中等教育コースのみの志願とし，合格者を決定します。
実技型(音楽)	中等教育コース	2名		中等教育コースのみの志願とし，合格者を決定します。
学校教育課程　学校推薦型選抜Ⅰ　計		14名		

学校推薦型選抜Ⅱ

選抜区分	コース	募集人員		選抜グループ及び選抜方法
面接型(総合)	初等教育コース	10名	14名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ，中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。 2. 初等教育コース，中等教育コースの志願者を面接型(総合)，面接型(家庭)の選抜区分で選抜を行い，合格者を決定します。
	中等教育コース	4名		
面接型(家庭)	初等教育コース	1名	3名	
	中等教育コース	2名		
面接型(特別支援)	初等教育コース	5名		初等教育コースのみの志願とし，合格者を決定します。
学校教育課程　学校推薦型選抜Ⅱ　計		22名		

総合型選抜Ⅰ

選抜区分	コース	募集人員		選抜グループ及び選抜方法
実技型(美術)	初等教育コース	1名	3名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ，中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。 2. 初等教育コース，中等教育コースの志願者を実技型(美術)の選抜区分で選抜を行い，合格者を決定します。
	中等教育コース	2名		

○所属コース等の決定

所属するコース（初等教育コース，中等教育コース）は，合格発表時に決定します。
所属するサブコースは，２年次前期開始までに本人の希望と入学試験時の選抜区分及び入学後の成績等により決定します。

（２）工学部の所属コース等の決定

機械・システム工学科（総合型選抜Ⅱ（特別枠）は除く），電気電子情報工学科，建築・都市環境工学科，物質・生命化学科において，所属するコースは，２年後期終了時までに本人の希望と入学後の成績等により決定します。

各学科のコースは次のとおりです。

【工学部】

学　科	コ ー ス	コース配属時期等
機械・システム工学科	機械工学コース	応用物理学科を除く各学科のコース選択は２年後期終了時までに行い，その後各コースへの配属となります。 なお，機械・システム工学科の原子力安全工学コースの学生は，コース配属の３年次から敦賀キャンパスにおいて教育を受けます。
	ロボティクスコース	
	原子力安全工学コース	
電気電子情報工学科	電子物性工学コース	
	電気通信システム工学コース	
	情報工学コース	
建築・都市環境工学科	建築学コース	
	都市環境工学コース	
物質・生命化学科	繊維・機能性材料工学コース	
	物質化学コース	
	バイオ・応用医工学コース	
応用物理学科	※コース選択はありません	

２．入学者選抜方法等

（１）本学の一般選抜は，分離分割方式により前期日程試験と後期日程試験で実施します。前期日程及び後期日程からそれぞれ１つの大学・学部に出願することができます。

（２）試験日程グループ間の併願については，「前期－前期」,「後期－後期」の組合せでの併願はできません。

（３）前期日程の大学・学部に合格し，入学手続を完了した者は，後期日程の大学・学部を受験しても合格者とはなりません。

（４）他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜及び総合型選抜の合格者は，本学の教科・科目に係る個別テスト等を受験しても合格者とはなりません。ただし，学校推薦型選抜及び総合型選抜を実施する大学・学部の定める手続により，入学の辞退を許可された場合は，この限りではありません。

３．出願資格

本学の一般選抜に出願をすることができる者は，次のいずれかに該当し，かつ志望する学部・学科等が指定する令和９年度大学入学共通テスト（以下，「大学入学共通テスト」という。）の教科・科目（教育学部：27・28ページ，医学部：36ページ，工学部：44・45ページ，国際地域学部：51ページを参照）をすべて受験した者とします。

（１）高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和９年３月31日までに卒業見込みの者

（２）通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和９年３月31日までに修了見込みの者

（３）学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で，次のいずれかに該当する者又は令和９年３月31日までにこれに該当する見込みの者

① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは令和９年３月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者若しくは令和９年３月31日までに修了見込みの者

③ 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和９年３月31日までに修了見込みの者

④ 文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号）

⑤ 高等学校卒業程度認定試験の合格者又は令和９年３月31日までに合格見込みの者で令和９年３月31日までに18歳に達するもの（大学入学資格検定合格者を含む。）

⑥ 学校教育法第90条第２項の規定により大学に入学した者である場合は，本学において，大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

⑦ 本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和９年３月31日までに18歳に達するもの

【注意事項】

ア．出願資格の詳細は，令和９年度大学入学共通テスト「受験案内」の「出願資格」を参照してください。

イ．出願資格（３）の⑥により出願を希望する者は，出願受付開始日の10日前までに本学学務部入試課へ問い合わせてください。

ウ．出願資格（３）の⑦の個別の入学資格審査の申請期間は令和８年８月31日（月）で終了しています。ただし，他大学で入学資格認定を受けた者で，大学入学共通テストの出願後に本学の入学資格審査を希望する場合は，教科・科目に係る個別テスト等出願受付開始日の５日前までに必要書類を添えて申請してください。詳細については，本学ホームページの下記のページを参照してください。

【トップページ＞受験生の方へ＞入試データ＞入学資格審査】

https://www.u-fukui.ac.jp/user_admission/admission_data/capacity/

エ．出願資格に不明な点がある場合には，日程に十分余裕を持って出願前に本学学務部入試課へ文書により問い合わせてください。

４．出願手続

出願手続は，インターネット出願サイトでの出願情報の入力及び検定料の支払いを行った後，必要な書類等を郵送することにより完了します。必要な書類に不備がないかよく確認して発送してください。

（１）出願期間

令和９年１月２５日（月）～２月３日（水）　16時必着

※インターネット出願サイトでは，1 月 22 日（金）10:00 から入力が可能

① **出願書類等は，市販の角形２号封筒（240㎜×332㎜）に，インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを貼り，本学学務部入試課又は学務部松岡キャンパス学務課入試担当へ郵送（簡易書留速達）するものとし，出願期間内に必着**とします。ただし，**期限後に到着した出願書類等のうち，２月２日（火）までの発信局日付印（日本国内の郵便の日付印に限る。）のある簡易書留速達郵便に限り受理**します。持参による出願は認めません。

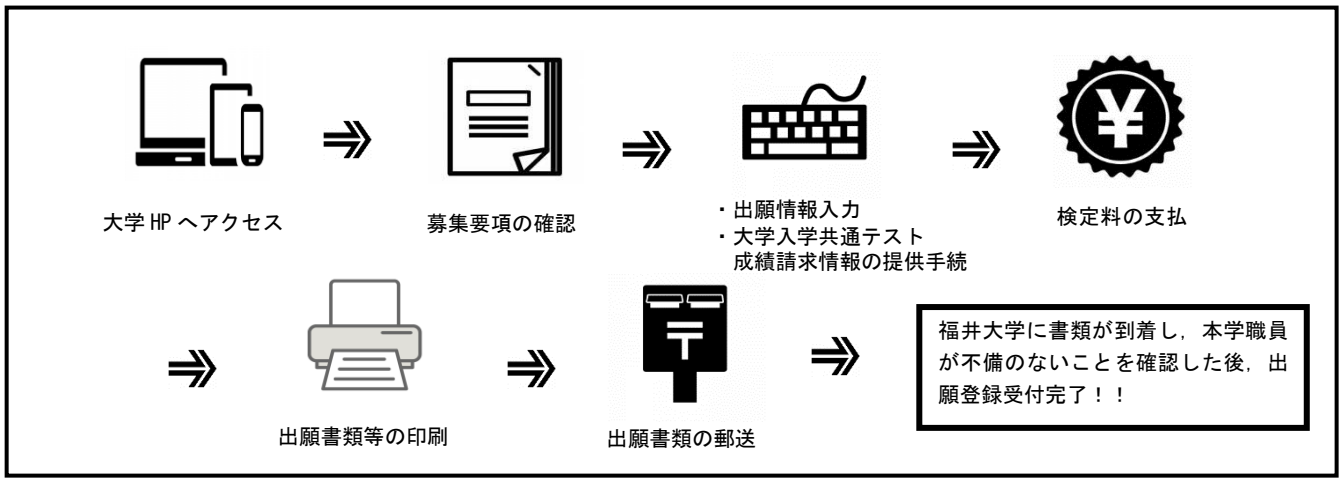
② 同一人が前期日程と後期日程に出願する場合や，出身学校経由で提出する場合であっても，出願書類をそれぞれ別の封筒に入れたうえで，郵送してください。

③ 郵便局で交付される簡易書留郵便受領証等は，受験票が印刷できるようになるまで大切に保管してください。

④ **出願書類到着の照会には応じません。**

（２）出願方法

○ インターネット出願の流れ



出願はインターネットにより行います。出願完了には次の①～④のすべての手続が必要です。

インターネット出願サイトへは，本学ホームページの下記のページからアクセスできます。

【トップページ＞受験生の方へ＞入試情報・募集要項＞インターネット出願】

https://www.u-fukui.ac.jp/user_admission/examination/web_apply/

No.	手　　続	備　　考
①	インターネット出願サイトでの出願情報の入力	出願情報入力可能期間 令和９年１月 22 日（金）10：00～２月３日（水）16：00 （「出願情報入力可能期間」のうち，「出願期間」前に入力した場合であっても，必ず出願期間内に出願書類を本学に郵送し，受付を完了してください。）
	大学入学共通テスト 成績請求情報の提供手続 ※本学が指定する方式は「Web 方式」です。	「令和９年度大学入学共通テスト受験案内」54 ページの「１成績請求情報の提供手続　（１）手続の方法　①『Web 方式』」や，大学入試センターが発行するマニュアル等を参照して，「申込番号」等を入力してください。 ＊「申込番号」等とは，共通テスト出願サイトの「ユーザ ID（メールアドレス）・パスワード」及び「申込番号」のことです。 ＊独立行政法人大学入試センターホームページ ＜https://www.dnc.ac.jp/＞
②	検定料の支払い	検定料 17,000 円（別途支払手数料が必要です。） 検定料の詳細は，9・10 ページの「(4)検定料の支払方法」を参照してください。 **注）検定料の支払後は，志願者本人では出願情報の変更はできませんので，入力内容に誤りがないかを必ず確認してから検定料の支払いを行ってください。特に工学部出願者は，出願学科，試験場に誤りがないかの確認をお願いします。**
③	出願書類等の印刷	出願情報の入力及び検定料の支払い後にダウンロードする書類は全て白色のＡ４用紙にカラーで印刷してください。
④	出願書類の郵送	市販の角形２号封筒（240㎜×332㎜）に，インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを貼り，簡易書留速達郵便で郵送してください。 （郵送先） 【教育学部・工学部・国際地域学部】 〒910-8507 福井市文京3－9－1　福井大学学務部入試課 【医学部】 〒910-1193 吉田郡永平寺町松岡下合月23－3 福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当

（注）**１．インターネット出願サイトでの出願情報の入力及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了とはなりません。出願期間内に，次項に記載する出願書類を郵送（最終日 16 時必着）することで完了します。**

２．成績請求情報とは，各大学が大学入試センターに志願者の大学入学共通テストの成績を請求するための情報です。

（３）出願書類等

① インターネット出願サイトから印刷するもの

出 願 書 類 等	対象者	留　意　事　項　等
出願確認票 （提出用）	全 員	出願情報の入力後，申込確認ページからＡ４サイズでカラー印刷し，提出してください。 注）**印字されている内容に誤りがないか確認してください。** 出願確認票は，検定料の支払い及び証明写真（顔写真）のアップロードが完了していないと印刷できません。
出願封筒用 宛て名ラベル		出願情報の入力後，申込確認ページからＡ４サイズでカラー印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください（普通紙に印刷する場合は剥がれないようにのり付けしてください）。 注）印字されている内容に誤りがないか確認してください。 封筒は，市販の角形２号封筒（240㎜×332㎜）を使用し，簡易書留速達で郵送してください。

②インターネット出願サイトからアップロード作業が必要なもの

出 願 書 類 等	対象者	留　意　事　項　等
証明写真 （顔写真）	全 員	出願情報の入力及び検定料支払い後，登録完了メールに記載されている URL から，志願者本人の顔写真のアップロードを行ってください。 注）志願者本人と判別できるもので，カラー・上半身・無帽・正面向き・無背景のもの，出願前３か月以内に撮影した 100KB～５MB の jpg 又は png 形式のデータを使用してください。アプリ等で加工・修正を施したものは使用できません。

③その他同封が必要な書類

出願書類等	対象者	留意事項等
調査書	全員	文部科学省所定の様式により，出身学校長が作成し，厳封したものを同封してください。 なお，新型コロナウイルス感染症の影響による，大会や資格・検定試験の中止・延期等を踏まえ，出席日数，特別活動の記録，指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって，志願者を不利益に取り扱うことはありません。 高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定合格者を含む）は，調査書に代えて「合格証明書」及び「合格成績証明書」の２点を提出してください。ただし，出身学校等において科目を修得したことにより受験科目を免除された場合については，これらに加え，出身学校等の調査書又は成績証明書を提出してください。 既卒者の場合は，卒業後に発行されたもの（卒業見込でないもの）で厳封されたものを提出してください。
提出資料	教育学部　該当者のみ	○　前期日程の実技型（音楽）志願者（24・25 ページ参照） 声楽実技の志願者は，伴奏譜（又は合唱の楽譜）を提出してください。 ピアノ実技・管弦打楽器実技の志願者は，楽譜を提出してください。 ○　前期日程の実技型（体育）志願者 次の資料をＡ４サイズの用紙にまとめて提出してください。 ①　競技歴リスト 出場した主な競技会等の競技歴リストを作成してください。書式は自由ですが，最近のものから順に期日，大会名，種目，成績，試合結果，役割（チーム競技の場合は先発，補欠，ポジション等）について明記し，主要な成績１つに◎印を付けてください。特に必要な場合は，中学時代の競技歴をつけ加えても構いません。なお，競技歴がない場合は，「該当なし」と記載した競技歴リストを提出してください。 ②　競技歴を証明する資料 ①の競技歴リストを証明する資料を添付してください。ただし，◎印を含め３点以内とします。これらのコピー（片面）を３枚以内にまとめてください。証明する資料とは，賞状，大会プログラム，メンバー表，段位認定証，ランキング表，新聞や雑誌の切り抜き等です。正確に判読できる範囲であれば縮小・拡大しても構いません。資料は重ねて貼り付けないでください。
履歴書 （所定様式）	医学部　該当者のみ	医学科，看護学科ともに，高等学校又は中等教育学校を，令和８年３月以前に卒業した者（既卒者）は，本学ホームページから様式をダウンロードして作成してください。 手書きの場合は黒のインク又はボールペンを使用し（**消せるボールペンは使用不可**），文字はかい書で正確に記入してください。数字は算用数字を使用してください。 注）履歴書様式は，**必ず「令和９年度」のものを使用**してください。令和８年度以前の様式は一切受理しません。

注 意 事 項

① 指導要録等の保存期間が経過した者，又は廃校・被災その他の事情により調査書が得られない者は，次によって提出してください。

ア．卒業後５年を経過した場合

原則として「卒業証明書」及び「単位修得証明書」，又は「学籍の記録及び修得単位の記録のみを証明した調査書」を提出してください。

イ．卒業後 20 年を経過した場合

「卒業証明書」及び「指導要録が法令に定める保存年限を経過し，廃棄済みであるため調査書を発行できない旨の文書」を提出してください。

なお，成績通信簿の写し（受験者本人が保管している場合）等，入学志願者が提出できる書類をもって調査書に代えることができます。

ウ．廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合

上記イと同じ。なお，これらの書類も提出できない場合は，出身高等学校を所管する教育委員会，知事又は出身高等学校長が作成したこれに関する証明書を提出してください。

※いずれの証明書が発行可能かについては，卒業した高等学校に問い合わせ願います。

② 出願書類等の受理後は，どのような事情があっても出願書類の返還，並びに記載事項の変更は認められません。ただし，出願後に本人住所（合格通知等の受信場所）等が変更となった場合は，速やかに連絡してください。

③ 出願書類等に不備がある場合は，受理できないことがあるので，十分注意してください。

④ 出願書類等の偽造，虚偽記載，剽窃，その他選抜の公平性を損なう不正な行為が認められた場合には，出願を取り消します。また，出願受理後または入学後に出願書類等に不正があることが明らかになった場合には，出願受理または入学許可を取り消します。なお，この場合，検定料及び入学料は返還しません。

⑤ **本学が指定した令和９年度大学入学共通テストの教科・科目を一部でも受験していない者は出願無資格者となるので，志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認してください**（本学は出願期間終了後に大学入試センターからのデータに基づいてのみ，この確認を行います）。なお，**出願無資格者であることが判明した者は，本学の教科・科目に係る個別テスト等を受験することができません。**

（４）検定料の支払方法

① 検 定 料　　17,000 円

※検定料の他に，別途支払手数料が必要です。

② 支払期間　　令和９年１月22日（金）～２月３日（水）　※出願期間とは異なります。

ただし，出願書類等は検定料支払い後に郵送が必要となり，２月３日（水）**16時本学必着であることに特に注意**して早めに支払ってください。

③ 支払方法　　コンビニエンスストア，銀行ATM（Pay-easyでの支払い），クレジットカード（VISA，MasterCard，JCB，AMERICAN EXPRESS，Diners Club）及びネットバンキングのいずれかで支払いが可能です。

④ 支払いに際しての留意事項

ア．銀行窓口での支払いはできません。

イ．コンビニエンスストアに設置されている銀行ＡＴＭでの支払いはできません。

ウ．クレジットカード及びネットバンキングの名義は，志願者と同一である必要はありません。

エ．支払手数料は，志願者本人の負担です。

⑤　検定料返還に関しての留意事項

出願書類を受理した後は，次の場合を除き，いかなる理由があっても支払済みの検定料は返還しません。

ア．検定料の全額返還請求ができる者

○　検定料支払い後，出願書類等を提出しなかった者又は出願が受理されなかった者

○　検定料を誤って二重に支払った者

イ．検定料の一部（13,000 円）返還請求ができる者

○　出願受理後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者

○　一般選抜（医学部医学科）の第１段階選抜で不合格となった者

○　学校推薦型選抜又は総合型選抜の第１次選考で不合格となった者

ウ．検定料の返還請求の方法

本学ホームページより所定の様式をダウンロードし，Ａ４サイズで印刷して必要事項をもれなく記入した上で，必ず「出願確認票（提出用）」を添付して期限までに下記の「請求（送付）先」に提出してください。

【トップページ＞受験生の方へ＞入試情報・募集要項＞入学検定料返還・免除請求】

https://www.u-fukui.ac.jp/user_admission/examination/exemption/

※必ず該当の様式を使用してください。記入漏れがある場合は受付できませんので注意してください。

※振込手数料は志願者の負担となります。本学に振り込まれた金額から手数料等を控除して返還します。

返還請求期限　　令和９年３月31日（水）17時必着（期限厳守）

請求（送付）先

学　　部	請求先（送付先）
【教育学部･工学部･国際地域学部】 文京キャンパス	〒910-8507　福井県福井市文京 3-9-1 福井大学学務部入試課 電話 0776-27-9927
【医学部】 松岡キャンパス	〒910-1193　福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3 福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当 電話 0776-61-8830

（５）受験票の印刷

教育学部，工学部，国際地域学部においては令和９年２月８日（月）９時から，医学部においては令和９年２月18日（木）９時から，インターネット出願サイトより受験票の印刷が可能になります。（医学部医学科において，第１段階選抜を実施した場合は，第１段階選抜合格者のみ，上記日時から受験票の印刷が可能になります。）申込確認画面からログインし，白色のＡ４用紙にカラーで印刷してください。

試験当日は，印刷した受験票と大学入学共通テストの受験票の両方を必ず持参してください。なお，氏名等に誤りがある場合には，本学学務部入試課又は学務部松岡キャンパス学務課入試担当へ連絡してください。

５．試験場

学　　部	前　期　日　程	後　期　日　程
教　育　学　部	文京キャンパス	文京キャンパス
医　　学　　部	松岡キャンパス	松岡キャンパス
工　　学　　部	文京キャンパス又は 京都試験場，名古屋試験場	文京キャンパス又は 敦賀キャンパス
国 際 地 域 学 部	文京キャンパス	文京キャンパス

※工学部においては，文京キャンパスの他，前期日程は京都試験場と名古屋試験場を，後期日程は敦賀キャンパスに試験場**（物質・生命化学科は除く）**を設けます。

京都試験場：京都リサーチパーク
〒600-8813　京都府京都市下京区中堂寺南町 134
（ＪＲ丹波口駅から徒歩５分）

名古屋試験場：愛知県産業労働センター「ウインクあいち」
〒450-0002　愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38
（ＪＲ名古屋駅「桜通口」からミッドランドスクエア方面　徒歩５分）

① 工学部の志願者は，出願登録時に受験会場を選択してください。
② 京都試験場，名古屋試験場，敦賀キャンパスの収容数には限りがあり，先着順で決定します。（定員に達した場合はインターネット出願サイト上で選択ができなくなります。）
試験場借用先（京都リサーチパーク，ウインクあいち）及び敦賀キャンパスへの照会・連絡は一切しないでください。
③ 志願学部に関係なく，指定された試験場以外では，いかなる理由があっても受験できません。

各試験場への交通手段について

各試験場へは，**公共交通機関を利用してください。**
また，**周辺地域の交通渋滞防止の観点から，自家用車による送迎はご遠慮願います。なお，大学周辺道路での駐停車，近隣私有地（店舗の駐車場を含む）等への無断駐車はしないでください。**

・文京キャンパス試験場及び敦賀キャンパス試験場へは，事前に許可された者（身体に障がいのある受験者等）のみ試験当日，自動車での入構ができます。
・松岡キャンパス試験場へは，試験当日，やむを得ず自動車で入構する場合は，受験者用駐車場（59ページの配置図を参照）に駐車してください。
・松岡キャンパスは，公共交通機関を利用する場合，福井駅からバス又は鉄道・バスの乗り継ぎが必要です。また，試験期は冬季にあたり降雪や積雪等により通常よりも移動に時間を要する場合があります。試験当日に遅刻することのないよう，事前に交通手段や経路・所要時間等を確認し，時間に十分な余裕をもって来学してください。
・試験当日は福井駅と松岡キャンパス会場間の「事前予約制直行バス（有料）」を運行予定です。詳細は決定次第（２月上旬を目途）に本学ホームページにて掲載予定です。

６．試験当日等の注意事項

（１）試験場の下見は，前期日程は２月24日（水）の14時から17時まで，後期日程は３月11日（木）の14時から17時までの時間内に行うことができます。ただし，建物内への入場はできません。案内図は，それぞれのキャンパスに設置します。

京都試験場，名古屋試験場は，試験当日のみ使用するので，建物外観以外の下見はできません。

（２）試験当日は，**インターネット出願サイトから印刷した本学の受験票と大学入学共通テストの受験票の両方を必ず持参**し，試験室では机上に置いてください。なお，受験票を忘失・紛失（又は破損）した場合には，係員に申し出て再発行などの措置を受けてください。

（３）試験当日は，身分証明書（生徒証・学生証・マイナンバーカード・パスポート・運転免許証・在留カード等（氏名及び生年月日の記載があり，顔写真付きで，試験日において有効なもの。））の持参を必須とします。不正行為が疑われる場合や受験票を持参し忘れた場合など，本人確認のために提示を求めることがあります。

（４）試験当日は，試験開始時刻の20分前までに試験室に入室してください。ただし，教育学部の前期日程「実技型（体育）」の志願者は８時30分までに第１体育館（58ページの配置図を参照）に集合してください。

（５）試験開始時刻に遅刻した場合は，試験開始時刻から 30 分以内の遅刻に限り受験を認めますので，係員の指示に従ってください。なお，受験が認められた場合でも，試験時間の延長は認めません。ただし，面接は，集合時間に遅刻した場合，特別の事情がない限り受験を認めません。

（６）試験開始から試験終了までは，試験室からの退室を認めません。試験時間中に体調不良となった場合やトイレ等やむを得ない場合には，自席で手を挙げて監督者の指示に従ってください。ただし，一時退室が認められた場合でも，医務室などでの受験はできません。また，一時退室した分の試験時間の延長も認められません。

（７）試験時間中は監督者の指示に従ってください。従わない場合や，不適切な行為のあった者は退室させることがあります。

（８）受験票のほかに試験時間中，机の上に置けるものは，黒鉛筆（HB 又は B，和歌・格言等が印刷されているものは不可），鉛筆キャップ，シャープペンシル（HB 又は B），消しゴム，鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可），時計，メガネ，ハンカチ，ティッシュペーパー（中身だけ取り出したもの），目薬です。

（９）時計は，辞書・電卓・端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの，秒針音のするもの，キッチンタイマーや学習タイマー，大型のものは使用できません。また，携帯電話，スマートフォン等を時計代わりに使用することはできません。

(10) 耳栓は，監督者の指示が聞こえない場合がありますので，使用できません。

(11) 電子機器類（注１）や音の出る機器は使用しないでください。試験室に入る前に必ず電源を切って，教科書・参考書と一緒にかばん等に入れてください。試験監督者からの注意や指示に従ってください。指示に従わない場合は，**不正行為**とみなすことがありますので，留意してください。

(12) 試験時間中，監督者が試験室内の巡視を行います。その際，監督者が写真により受験者の確認の為，顔を上げるよう指示することや，マスクやメガネ，帽子等を一時的に外すよう指示することなどがあります。また，不正行為に見えるような行為は，監督者が注意する場合があります。

(13) 試験の実施に影響を与えるおそれがある場合や不正行為が疑われる場合に，監督者等が所持品を確認することがあります。

(14) 試験終了後であっても，試験問題を SNS に投稿する等，インターネット上に掲載することはしないでください。

不 正 行 為 に つ い て

① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は，その場で受験の中止と退室を指示され，それ以後の受験はできなくなります。また，全ての教科・科目の成績を無効とします。

なお，不正行為については，状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

ア　出願確認票，受験票，解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。

イ　カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること，教科書，参考書，辞書等の書籍類の内容を見ること，他の受験者の答案等を見ること，他の人から答えを教わることなど。）をすること。

ウ　他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

エ　配付された問題冊子を，その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

オ　解答用紙を試験室から持ち出すこと。

カ　「解答はじめ。」の指示の前に，問題冊子を開いたり解答を始めること。

キ　試験時間中に，定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。），コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙等の補助具を使用すること。

ク　試験時間中に，電子機器類（注１）を使用すること。

※イヤホンは，耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中，病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は，受験上の配慮申請が必要です。）

ケ　「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず，鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

② 上記①以外にも，次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず，不正行為と認定された場合の取扱いは，①と同様です。

ア　試験時間中に，定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。），コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙等の補助具や電子機器類（注１），教科書，参考書，辞書等の書籍類をかばん等にしまわず，身に付けていたり手に持っていること。

※通信機能のある電子機器類（注２）は，かばんの中にしまっていなければ，電源が切られていても，使用しているものとし，不正行為となります（衣類のポケット等に入れていた場合も，使用しているものとし，不正行為となります。）。

イ　試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど，試験の進行に影響を与えること。

ウ　試験に関することについて，自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。

エ　試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

オ　試験場において監督者等の指示に従わないこと。

カ　その他，試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

（注１）電子機器類については，携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。），タブレット端末，電子辞書，IC レコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー等を指します

（注２）通信機能のある電子機器類については，携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。），タブレット端末等を指します。

＜感染症に関する注意事項＞

試験当日に，学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ，ノロウイルス，新型コロナウイルス感染症，麻しん等）に罹患し治癒していない場合は，他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので，受験は認められません。ただし，症状により学校医，その他の医師において感染のおそれがないと認められたときは，この限りではありません。万全の体調で試験に臨めるよう，感染予防対策を励行し，自己の健康管理を徹底するように注意してください。

なお，上記理由により受験できなかった場合，追試験は実施せず，検定料の返還も行いません。

※感染症の状況に応じて変更する場合があります。変更となった場合は，本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。

７．合格者発表

次の日程で合格者を「オンライン合否照会システム」において発表します。

本学ホームページ（ https://www.u-fukui.ac.jp/ ）「受験生の方へ」→「入試情報・募集要項」内の「合否照会」から確認してください。

【前期日程】　令和９年３月　６日　（土）　　10 時
【後期日程】　令和９年３月 20 日　（土）　　10 時

【注意事項】

（１）キャンパス掲示板での合格者発表は行いません。

（２）合格者発表直後は，回線が大変込み合うため，接続に時間がかかる場合があります。つながりにくい場合は，しばらく時間をおいてから再度アクセスしてください。電話等による照会には一切応じません。

（３）合格通知書は送付しませんので，必要な場合は「入学手続システム」からダウンロードしてください。詳細は「入学手続要項」を確認してください。

（４）医学部医学科において，２段階選抜を実施する場合，以下の日時に本学ホームページにおいて第１段階選抜合格者の受験番号を掲載します。

【前期日程】　令和９年２月10日（水）16時

【後期日程】　令和９年２月12日（金）10時

第１段階選抜については，合格通知書および不合格通知書の送付は行いませんので，注意してください。なお，電話等での合否の問い合わせには一切応じません。

※受験番号は，出願時にインターネット出願システムから出力する「出願確認票」で確認できます。また，受験票は第１段階選抜合格者のみ，令和９年２月18日（木）９時から出力可能になります。なお，２段階選抜を実施しない場合は，その旨を上記の日時に本学ホームページで公表します。

（５）試験当日等に，駅や試験場周辺で合否電話やメール等の受付を行う者がいても，本学とは一切関係ないので，十分注意してください。

８．入学手続

入学手続は「入学手続システム」から行います。

入学手続の詳細は，後日，本学ホームページに掲載予定の「入学手続要項」を確認してください。

入学手続は，入学手続システムでの登録及び入学料の納入を行っただけでは完了しません。入学手続期間内に必要な書類等が到着するように郵送（簡易書留速達）が必要です。

本学ホームページ（ https://www.u-fukui.ac.jp/ ）「受験生の方へ」→「入試情報・募集要項」内の「入学手続」から確認してください。

（１）入学手続期間

【前期日程】　令和９年３月６日（土）～ 15日（月）16時必着
【後期日程】　令和９年３月20日（土）～ 27日（土）16時必着

（２）入学手続方法

入学手続書類等は，次の「（３）入学手続書類等の送付先」へ**郵送（簡易書留速達）**するものとし，**入学手続期間内に必着**とします。期限後に到着したものは，いかなる理由があっても一切受理しないので郵便事情等を考えて早めに送付してください（**持参提出は不可**）。**やむを得ない事情により期間内に郵送で入学手続ができない場合は，必ず事前に入学手続書類等の送付先に電話で連絡してください。**その後の入学手続は本学の指示に従ってください。

（３）入学手続書類等の送付先

学　　部	送　　付　　先
【教育学部･工学部･国際地域学部】 文京キャンパス	〒910-8507　福井県福井市文京 3-9-1 福井大学学務部入試課 電話 0776-27-9927
【医学部】 松岡キャンパス	〒910-1193　福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3 福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当 電話 0776-61-8830

（４）入学手続時に要する経費

① 入学料　　282,000円（予定額）
② 授業料　前期　267,900円【年額535,800円】（予定額）

注：ア．入学時又は在学中に入学料・授業料改定が行われた場合には，改定時から改定後の額が適用されます。
イ．入学料・授業料の納入方法は，「入学手続要項」を確認してください。
ウ．納入された入学料は，返還しません。

（５）留意事項

① 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は，本学への入学の意思がなく入学を辞退したものとして取り扱います。
② 他の国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除きます。）に入学手続を行った者は，これを辞退して，本学に入学手続を行うことはできません。また，本学に入学手続を完了した者は，これを辞退して他の国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除きます。）に入学手続を行うことはできません。
③ 「前期日程」に合格し，当該大学の定める期日までに入学手続を行った者は，「後期日程」を受験してもその合格者とはなりません。
④ 入学手続に際しては，合格者が大学入学共通テスト出願サイトのマイページにおいて福井大学を登録した上で，「国公立大学入学確認票」を取得し，提出してください。「国公立大学入学確認票」の取得期間及び取得方法については「令和９年度大学入学共通テスト受験案内」58ページの「２国公立大学入学確認票」や，大学入試センターが発行するマニュアル等を参照してください。
＊独立行政法人大学入試センターホームページ
https://www.dnc.ac.jp/

（６）入学料・授業料の減免，多子世帯無償化，及び徴収猶予制度について

「大学等における修学の支援に関する法律」により，日本学生支援機構給付型奨学金受給者は，入学料・授業料の全部又は一部が免除となります。

また，国の「多子世帯に対する大学等の授業料等無償化制度」が令和７年度からスタートし，多子世帯（扶養する子どもの数が３人以上）の場合，家計の所得制限なく，入学料・授業料が無償化されました。

さらに，経済的理由や特別な事情により入学料・授業料の納付が困難であると認められる者に対しては，申請により選考の上，入学料及び授業料の徴収を猶予することがあります。

要件等の詳細は，入学手続要項及び本学ホームページ等をご確認ください。

【トップページ＞学生生活・就職＞授業料・奨学金・表彰＞授業料・入学料免除】

https://www.u-fukui.ac.jp/cont_life/money/exempt/

９．欠員補充の方法

（１）追加合格

入学手続完了者が定員に達しない場合は，一般選抜（前期日程・後期日程）を受験し合格者とならなかった者の中から，令和９年３月28日（日）より合格者を追加します。この場合，追加合格者には，出願確認票の「志願者連絡先」の電話番号に連絡し，入学の意思確認を行うので，確実に連絡が取れる連絡先を記入するとともに，着信がないかどうかに十分注意してください。追加合格に係る入学手続は，該当者に直接指示します。ただし，他の国公立大学に入学手続を完了した者は，それを取り消して本学の追加合格者として入学手続を行うことはできません。

（２）欠員補充第２次募集

追加合格によっても，なお入学定員に欠員が生じた場合には，欠員補充第２次募集を行うことがあります。この募集を行う場合は，３月末に公表します。

出願できる者は，前期日程・後期日程の合格者発表がなされた時点で，いずれの国公立大学にも合格していない者，および前期日程・後期日程の合格者発表がなされた時点で国公立大学に合格していたが，この募集の出願時にいずれの国公立大学にも入学手続を行っていない者に限ります。また，出願できるのは，１つの大学・学部に限ります。

なお，出願後に，他の国公立大学へ入学手続を行った場合においては，受験しても入学許可は得られません。

10. 障がいのある入学志願者等の事前相談

本学入学志願者で，病気・負傷や障がい等のために，受験上及び修学上の配慮を希望する者は，令和９年１月12日（火）までに本学学務部入試課又は学務部松岡キャンパス学務課入試担当に事前相談の申請をしてください。また，期限後にやむを得ない事情等により申請が必要となった場合には，直ちに電話等により相談してください。

事前相談の申請方法や受験上の配慮の一例等については，本学ホームページの下記のページを確認してください。

【トップページ＞受験生の方へ＞入試情報・募集要項＞障がいのある入学志願者等の事前相談】

https://www.u-fukui.ac.jp/user_admission/examination/sochi/

11. 入学検定料免除（返還）

本学では，災害により被災した入学志願者の経済的負担を軽減し進学機会の確保を図るため，入学検定料に対する免除等の特別措置を講じます。免除の対象となる災害やその対象者，申請方法等の詳細については，本学ホームページの下記のページを確認してください。

【トップページ＞受験生の方へ＞入試情報・募集要項＞入学検定料返還・免除請求】

https://www.u-fukui.ac.jp/user_admission/examination/exemption/

不明な点がある場合は，出願時までに学務部入試課に問い合わせてください。

12. 一般選抜における個人成績の開示

一般選抜の個人成績開示を希望する者は，出願時にインターネット出願サイトの「個人成績開示システム」から個人成績閲覧を申し込んでください。

（１）請求方法

成績開示を希望する志願者は，インターネット出願登録の際に，試験成績開示請求項目の 「希望する」を必ず選択してください。出願受付後の変更はできませんので注意してください。

（２）開示請求手数料

１件につき 1,000 円

※前期日程及び後期日程の開示請求を行う場合は，２件分の開示請求手数料が必要です。

※出願受理後の開示請求手数料の返還は行いません。

（３）開示期間

令和９年５月 10 日（月）から６月 30 日（水）まで

※開示期間外の閲覧はできません。

＜個人成績開示システム＞

https://exam-entry.52school.com/u-fukui/disclosure

（４）閲覧方法

開示期間中に，インターネット出願サイトの「個人成績開示システム」より閲覧してください。

なお，閲覧時には「受験番号」及びインターネット出願登録時の「セキュリティコード」の入力が必要になります。「受験番号」及び「セキュリティコード」の管理には十分に注意してください。

万が一，「セキュリティコード」がわからなくなった場合には，出願時に登録したメールアドレス宛に通知を受けることができます。必ず開示時期まで変更しないメールアドレスを登録してください。

【トップページ＞受験生の方へ＞入試データ＞入学試験の個人成績開示】

https://www.u-fukui.ac.jp/user_admission/admission_data/principal/

（５）開示内容

請求者の総得点，大学入学共通テストの科目別得点，教科・科目に係る個別テスト等の総得点を開示します。なお，教科・科目に係る個別テスト等を一部でも受験していない者及び医学部医学科第１段階選抜不合格者については開示を行いません。

※過去の合格者の最高点，平均点等については，本学ホームページの下記のページで公開しています。

【トップページ＞受験生の方へ＞入試データ＞入学志願者資料集】

https://www.u-fukui.ac.jp/user_admission/admission_data/applicant/

（６）問い合わせ先

学　　部	問い合わせ先
【教育学部･工学部･国際地域学部】 文京キャンパス	〒910-8507　福井県福井市文京 3-9-1 福井大学学務部入試課 電話 0776-27-9927
【医学部】 松岡キャンパス	〒910-1193　福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3 福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当 電話 0776-61-8830

13. 個人情報の利用

出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は，①入学試験の実施，②入学手続，奨学金等の制度の運用，③入学者の受入準備（学籍管理，履修準備含む），④入試の改善や志願動向等の調査に使用する目的をもって福井大学が管理します。この目的の範囲内で福井大学の教職員が利用する場合及び本人の同意を得た場合のほかは，次に掲げる場合を除き，原則として，他の目的で利用又は福井大学の教職員以外に提供することはありません。

（１）捜査機関が捜査上必要とした場合等，行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて相当の理由があるときに，当該行政機関に個人情報を提供する場合

（２）提出された出願書類等の個人情報を電算処理する場合で，当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に対する個人情報の提供が必要となった場合（なお，この場合には，当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課すことになります。）

（３）提出された出願書類等の個人情報を，当該本人の権利利益を不当に侵害するおそれがない範囲で，学術研究の目的のために提供する場合

（４）国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため，合否及び入学手続等に関する個人情報（氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限る）を，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に情報提供する場合

14. 入試過去問題活用宣言への参加

本学は，入試過去問題活用宣言に参加しており，アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認められる範囲で入試過去問題活用宣言に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

（１）入試過去問題活用宣言についての詳細及び参加大学の一覧については，次のホームページにて確認してください。

入試過去問題活用宣言

【トップページ＞受験生の方へ＞入試情報・募集要項＞入試過去問題活用宣言】

https://www.nyushikakomon.jp/index.html

（２）入試過去問題を必ず使用するとは限りません。また，使用する際は，そのまま使用する場合も，一部改変して使用する場合もあります。

（３）過去問題を使用した場合は，入学者選抜試験終了後，公表します。

Ⅱ　教育学部

１．アドミッション・ポリシー

（1） 教育学部で養成する人物像

公教育の担い手として多様な人々と協働できる人
教科・領域の専門性を横断的，系統的に身につけている人
学識に支えられた指導力により子どもたちの学習・発達を支援できる人
生涯にわたって学び続けることができる人

（2） 求める学生像

（2－1） 求める学生像

高等学校などで身につけた基礎学力の上に立って，主体的・協働的に学ぶことができる人
人間の教育や心理に興味を持ち，初等・中等教育における各教科の教育に強い関心を抱いている人
子どもの成長を支えられる豊かな人間性と優れたコミュニケーション能力を有している人
教育への情熱や探究心を持ち，学校を中心とする地域・社会の諸課題に積極的に取り組んでいこうとする人

（2－2） 入学前に学習しておくことが期待される内容

教育学部では，各自が専攻する教科・領域のみならず，高等学校段階までに学習する基礎的な知識・技能が十分身に付いていることを前提に専門教育を行います。また，学修の過程では，ものごとを多面的にとらえ，地域や学校における実践コミュニティの一員として，地域に参画し，他者と協働し，生涯にわたって学び続ける主体性も求められます。これらのことから，高等学校段階では，各教科内容はもとより，他者との協働的な活動などそれ以外についても幅広く学習し，視野を広げておくことを期待します。

（3） 入学者選抜の基本方針

【一般選抜（前期日程）】

基礎学力を総合的に評価するために，大学入学共通テストを課します。さらに，文系型・理系型の選抜では，選抜区分に応じた教科・科目の学力を重視した学力検査を実施し，専門分野の学習に必要な知識・能力を評価します。実技型（音楽）の選抜では，実技検査，実技型小論文及び個人面接を実施し，専門分野の学習に必要な知識・技能及び意欲を評価します。実技型（体育）の選抜では，実技検査，実技型小論文を実施し，専門分野の学習に必要な知識・技能及び意欲を評価します。

【一般選抜（後期日程）】

基礎学力を総合的に評価するために，大学入学共通テストを課します。さらに，教育，文化，科学・技術，人間の発達に関わる課題を扱った小論文を課し，専門分野の学習に必要な論理的思考力や表現力を評価します。

【学校推薦型選抜Ⅰ】（大学入学共通テストを課さない）

〇高大接続型（嶺南地域枠）

調査書，推薦書，志願理由書等により初等及び中等教育を学ぶための資質，適性を評価します。また，個人面接（プレゼンテーションを含む。）と集団討論により，目的意識や意欲，論理的思考力を評価します。

〇実技型（技術）

調査書，推薦書，志願理由書等により技術科で学ぶ者に求められる資質・能力，適性を評価します。また，実技検査，実技型小論文及び個人面接により，基礎的技能の程度と技術教育への興味・関心，目的意識や意欲，論理的思考力を評価します。

〇実技型（音楽）

調査書，推薦書，志願理由書等及び個人面接により，音楽及び音楽教育に対する理解や意欲について評価します。また，実技検査では，新曲視唱及び選択課題（ピアノ，声楽，管弦打楽器）により，表現の技能及び音楽性を評価します。

【学校推薦型選抜Ⅱ】（大学入学共通テストを課す）

〇面接型（総合）

基礎学力を総合的に評価するために，大学入学共通テストを課します。調査書，推薦書，志願理由書等により，初等及び中等教育を学ぶための資質，適性を評価します。また，個人面接（プレゼンテーションを含む。）により，目的意識や意欲，論理的思考力を評価します。

〇面接型（特別支援）

基礎学力を総合的に評価するために，大学入学共通テストを課します。調査書，推薦書，志願理由書等により，特別支援教育を学ぶための資質，適性を評価します。また，個人面接（プレゼンテーションを含む。）により，目的意識や意欲，論理的思考力を評価します。

〇面接型（家庭）

基礎学力を総合的に評価するために，大学入学共通テストを課します。調査書，推薦書，志願理由書等により，初等及び中等教育を学ぶための資質，適性を評価します。また，個人面接（プレゼンテーションを含む。）により，家庭科教育に対する目的意識や意欲，論理的思考力を評価します。

【総合型選抜Ⅰ（高大接続型入試）】（大学入学共通テストを課さない）

〇実技型（美術）

プレゼンテーション（プレゼンテーションの資料作成・口頭発表）と提出書類（調査書，志願理由書，自己推薦書等）により，初等及び中等教育を学ぶための資質，適性，および基礎学力を総合的に評価します。また，実技検査（基礎的な造形力を素描にて考査）と個人面接により，教育の諸課題に主体的に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

入学者選抜方針に基づき，以下の入試区分ごとに示す方法で，学力の3要素等を多面的・総合的に評価し，入学者を選抜します。

入試区分	評価方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期） 文系型・理系型	大学入学共通テスト	○	○	
	教科・科目に係る個別テスト	○	○	
	調査書			○
一般選抜（前期） 実技型（音楽）	大学入学共通テスト	○	○	
	実技検査	○	○	
	実技型小論文	○	○	
	個人面接	○	○	○
	調査書			○
一般選抜（前期） 実技型（体育）	大学入学共通テスト	○	○	
	実技検査	○	○	
	実技型小論文	○	○	
	調査書			○
一般選抜（後期） 統合型	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	調査書			○
学校推薦型選抜 Ⅰ 高大接続型 （嶺南地域枠）	個人面接（プレゼンテーションを含む。）	○	○	○
	集団討論	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
	資料[1]	○	○	○
学校推薦型選抜 Ⅰ 実技型（技術）	実技検査	○	○	
	個人面接	○	○	○
	実技型小論文	○	○	
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
学校推薦型選抜Ⅰ 実技型（音楽）	実技検査	○	○	
	個人面接	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○

学校推薦型選抜 Ⅱ 面接型（総合）	大学入学共通テスト	○	○	
	個人面接（プレゼンテーションを含む。）	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
学校推薦型選抜 Ⅱ 面接型 （特別支援）	大学入学共通テスト	○	○	
	個人面接（プレゼンテーションを含む。）	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
学校推薦型選抜 Ⅱ 面接型（家庭）	大学入学共通テスト	○	○	
	個人面接（プレゼンテーションを含む。）	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
総合型選抜 Ⅰ 実技型（美術）	資料[2]	○	○	○
	実技検査	○	○	
	個人面接（プレゼンテーションを含む。）	○	○	○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
	自己推薦書		○	○

○ 重視する

資料[1] 高等学校時代の取り組みや活動を説明する資料
資料[2] 高等学校等での取り組みとその成果に関するレポートや作品資料

「こども性暴力防止法」施行への対応について

令和６年６月に「学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律」（以下「こども性暴力防止法」（※）という。）が成立しました。

この法律の施行日（令和８年12月25日を予定）以降，教員免許状取得のための教育実習等の前に，こども性暴力防止法に基づく特定性犯罪前科の事実確認が行われる可能性があり，この手続で当該前科が確認された学生は，教育実習等を行うことができないため，教員免許状の取得ができないこととなります。

なお，教育学部においては，教育実習等の単位が卒業に必須となっており，卒業要件を満たすことができず，卒業できない可能性があります。

上記の内容を十分にご理解いただいたうえで，出願（入学）をご検討ください。

※「こども性暴力防止法」の詳細については，こども家庭庁のホームページもご確認ください。
https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou

２．教科・科目に係る個別テスト等の日程

日程		課程・コース	選抜区分	試験教科・科目等	試験時間	備考
前期日程	2月25日（木）	学校教育課程 初等教育コース 中等教育コース	文系型	国語（100分）	12:20～14:00	
				外国語（英語）（100分）	14:50～16:30	
			理系型	数学（110分）	9:20～11:10	
				国語（100分）	12:20～14:00	（出願時にどちらかを選択）
				外国語（英語）（100分）	14:50～16:30	
			実技型（音楽）	実技，実技型小論文，面接	9:20～	
			実技型（体育）	実技	9:20～	昼食及び実技型小論文の開始時刻は変更することがあります。昼食は各自持参してください。
				（昼食）	（12:30～13:10）	
				実技型小論文	13:30～14:30	
後期日程	3月12日（金）	学校教育課程 初等教育コース 中等教育コース	統合型	小論文（120分）	9:30～11:30	

受験上の注意事項：

ア．試験室には，受験する科目の試験開始時刻の 20 分前までに入室してください。
ただし，実技型（体育）の選抜区分での志願者は８時 30 分までに第１体育館（58 ページの配置図を参照）に集合してください。

イ．試験開始に遅刻した場合は，試験開始後 30 分以内の遅刻に限り，受験を認めます。

ウ．本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合は，失格となります。

エ．前期日程において，出願時に選択した教科・科目以外での受験はできません。

３．入学者選抜方法等

（１）大学入学共通テスト並びに教科・科目に係る個別テスト等及び調査書を総合して選抜します。

（２）前期日程，後期日程とも２段階選抜は実施しません。

（３）大学入学共通テストの利用教科・科目名，教科・科目に係る個別テスト等の教科・科目名及びその配点については，「７．入学者選抜の実施教科・科目，配点等」（27・28ページ）を参照してください。

（４）実技型小論文・小論文，面接，実技検査の内容等については，24・25ページを参照してください。

（５）**大学入学共通テストの得点と教科・科目に係る個別テスト等の得点が本学の定める基準に達していない場合は，募集人員内でも合格とならないことがあります。**

４．小論文，面接の内容（出題方針）等

日程	課程・コース，選抜区分，学科等			区　分	小論文，面接の内容（出題方針）等
前期日程	学校教育課程	初等教育コース 中等教育コース	実技型 （音楽）	実技型 小論文	試験当日に演奏する楽曲や，演奏技術・表現等についての課題を提示し，論理的思考力，表現力等を総合的に評価します。資料や文献を用いることもあります。
				面　接	個人面接 音楽や音楽教育に関しての興味，意欲等 音楽に関する基礎的な知識 これまでの学習歴（音楽実技を中心に）について
		初等教育コース 中等教育コース	実技型 （体育）	実技型 小論文	保健体育・スポーツに関する文化，技術，社会に関わる課題を提示し，論理的思考力，表現力等を総合的に評価します。資料や文献を用いることもあります。
後期日程		初等教育コース 中等教育コース	統合型	小論文	教育，文化，科学・技術，人間の発達に関わる課題を提示して論述させ，論理的思考力，表現力を総合的に評価します。資料や文献を用いることもあります。

５．実技検査内容

日程	課程	コース・選抜区分名		実　技　検　査　の　内　容　等
前期日程	学校教育課程	初等教育コース・中等教育コース	実技型 （音楽）	実　技 １．ピアノ実技 ２．次の２つからどちらかを選択する。 （A）声楽実技 （B）管弦打楽器実技（オーケストラ，吹奏楽で通常使用される楽器に限る。判断が難しい場合は，問い合わせをしてください。） 注：大型楽器での受験に際しては，本学で用意できない楽器については受験者が自ら持参し，組み立て設置してください。楽器の種類や，搬入・組み立てに要する時間・経路等を確認するため，必ず期限までに本学学務部入試課（電話：0776-27-9927）に問い合わせをしてください。 なお，事前に申し出た場合に限り，特別に補助運搬者の付き添いを認めることがありますので，詳しくは問い合わせをしてください。 また，やむを得ない事情等により期限を過ぎた場合には，直ちに本学学務部入試課に相談してください。 問い合わせの締切日 令和９年１月 12 日（火）まで 各実技の課題は次のとおりとする。 ○ピアノ実技 任意の１曲を演奏すること。 注１：出願時に楽譜を提出すること。 ２：繰り返しは省略すること。 ３：途中で演奏を止めることがある。

前期日程	学校教育課程	初等教育コース・中等教育コース	実技型（音楽）	○声楽実技 下記の①又は②又は③から１曲を演奏する。暗譜で演奏すること。 ①日本歌曲 以下の楽譜の中から選ぶこと。 ・「日本歌曲集１」（全音楽譜出版社） ・「最新日本歌曲選集　日本歌曲名歌集（原調版）」（音楽之友社） ・「日本歌曲選集」（ドレミ楽譜出版社） ・「日本名歌 110 曲集１～２」（全音楽譜出版社） ・「日本名歌選集　中声用」（全音楽譜出版社） ・「日本名歌低声用 55 曲集１～２」（カワイ楽譜出版） ②イタリア古典歌曲 「イタリア歌曲集１」（全音楽譜出版社）（中声用または高声用）又は「古典イタリア歌曲集１～５」（カワイ出版）（低声用）から選ぶこと。 ③合唱曲 合唱曲の中から任意の１曲の１パートを演奏する。作品全体を暗譜して準備すること。試験当日に演奏部分を指定する場合がある。ピアノパートの有無は問わない（無伴奏／アカペラ曲も可）。アカペラ曲を演奏する場合は，無伴奏で演奏する。 注１：出願時に伴奏譜（又は合唱の楽譜）を提出すること。伴奏譜及び合唱の楽譜は横一列（屏風型）に貼り合わせておくこと。合唱はどのパートを演奏するかわかるように楽譜に印をつけておくこと。 ２：イタリア古典歌曲は原語で演奏すること。 ○管弦打楽器実技 任意の１曲を演奏すること。 注１：伴奏はなしで演奏すること。出願時に楽譜を提出すること。 ２：繰り返しは省略すること。 ３：途中で演奏を止めることがある。
			実技型（体育）	実　技 １．基礎的運動能力に関する課題（スポーツ庁新体力テストに準ずる課題） ２．スポーツスキルに関する基礎的課題 注：イ．スポーツウェアと屋内シューズを用意してください。 ロ．必要に応じて，飲み物，汗ふきタオル等を用意してください。 ハ．必要な用具は本学で準備します。

６．注意事項

（１）**本学が指定した令和９年度大学入学共通テストの教科・科目を一部でも受験していない者は出願無資格者となり，教科・科目に係る個別テスト等を受験することができません。志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認してください。**

（２）受験することを課した教科・科目において，指定された教科・科目数を超えて受験している場合は，高得点の教科・科目の成績を用います。ただし，「地理歴史」及び「公民」並びに「理科」の科目において，本学が１科目を課す場合の２科目受験者の成績の利用は，第１解答科目の得点を採用します。

（3）初等教育コースと中等教育コースの両方に募集人員のある選抜区分については，初等教育コースの志願者は中等教育コースを第２志望とし，中等教育コースの志願者は初等教育コースを第２志望とすることができます。

（4）教科・科目に係る個別テストの選択教科は，出願時に選択してください。

７．入学者選抜の実施教科・科目，配点等

前期日程　2月25日

［令和９年度］

学部・課程・コース名		選抜区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名等 教科	科目名等	教科・科目に係る個別テスト等の実施科目名等 教科等	科目名等	大学入学共通テスト，教科・科目に係る個別テスト等の配点等 試験の区分	教科 国語	地理歴史	公民	数学 ①	数学 ②	理科	外国語	情報	実技等 実技	面接	小論文	その他	調査書等 調査書	本人の記載する資料	配点合計	備考
教育学部	学校教育課程 初等教育コース（28） 中等教育コース（20）	文系型 初等教育コース（13） 中等教育コース（8）	国語	『国語』	国語	「現代の国語，言語文化，論理国語，古典探究」	共通テスト	200	200		100	100	100	200	100								1000	
			地理歴史 公民	『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』から２ 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』	外国語	「英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」	教科・科目に係る個別テスト等	300						300							○		600	
			数学① 数学②	『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅱ，数学B，数学C』	調査書等	「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定の資料とする	計	500	200		100	100	100	500	100								1600	
			理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』　から１																			
			外国語	『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』　から１																			
			情報	『情報Ⅰ』 〔６教科８科目〕または〔７教科８科目〕																			
		理系型 初等教育コース（11） 中等教育コース（8）	国語	『国語』	数学	「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C」	共通テスト	100	100		100	100	400	100	100								1000	
			地理歴史 公民	『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』から１ 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』	国語 外国語 から1	「現代の国語，言語文化，論理国語，古典探究」 「英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」	教科・科目に係る個別テスト等	＊300			300			＊300							○		600	
			数学① 数学②	『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅱ，数学B，数学C』	調査書等	「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定の資料とする	計	100/＊400	100		500		400	100/＊400	100								1600	
			理科	『物理』，『化学』，『生物』，『地学』　から２																			
			外国語	『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』　から１																			
			情報	『情報Ⅰ』 〔６教科８科目〕																			
		実技型（音楽） 初等教育コース（2） 中等教育コース（1）	国語	『国語』	実技等	「実技」・「面接」・「実技型小論文（音楽）」 ※実技型小論文の配点○は，実技の配点に含む	共通テスト	200	100		100	100	200	200	100								1000	
			地理歴史 公民	『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』から１ 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』	調査書等	「調査書」 ※調査書は面接の際に活用する	教科・科目に係る個別テスト等									500	100	○		○		600	
			数学① 数学②	『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅱ，数学B，数学C』			計	200	100		100	100	200	200	100	500	100						1600	
			理科	『物理』，『化学』，『生物』，『地学』　から２																			
			外国語	『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』　から１																			
			情報	『情報Ⅰ』 〔６教科８科目〕																			
				または（★）																			
			国語	『国語』			共通テスト	200	200		100	100	100	200	100								1000	
			地理歴史 公民	『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』から２ 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』			教科・科目に係る個別テスト等									500	100	○		○		600	
			数学① 数学②	『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅱ，数学B，数学C』			計	200	200		100	100	100	200	100	500	100						1600	
			理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』　から１																			
			外国語	『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』　から１																			
			情報	『情報Ⅰ』 〔６教科８科目〕または〔７教科８科目〕																			
		実技型（体育） 初等教育コース（2） 中等教育コース（3）	国語	『国語』	実技等	「実技」・「実技型小論文（体育）」 ※実技型小論文の配点○は，実技の配点に含む	共通テスト	200	100		100	100	200	200	100								1000	
			地理歴史 公民	『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』から１ 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』	調査書等	「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定の資料とする	教科・科目に係る個別テスト等									600		○		○		600	
			数学① 数学②	『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅱ，数学B，数学C』			計	200	100		100	100	200	200	100	600							1600	
			理科	『物理』，『化学』，『生物』，『地学』　から２																			
			外国語	『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』　から１																			
			情報	『情報Ⅰ』 〔６教科８科目〕																			
				または（★）																			
			国語	『国語』			共通テスト	200	200		100	100	100	200	100								1000	
			地理歴史 公民	『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』から２ 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』			教科・科目に係る個別テスト等									600		○		○		600	
			数学① 数学②	『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅱ，数学B，数学C』			計	200	200		100	100	100	200	100	600							1600	
			理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』　から１																			
			外国語	『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』　から１																			
			情報	『情報Ⅰ』 〔６教科８科目〕または〔７教科８科目〕																			

後期日程　3月12日　　［令和９年度］

学部・課程・コース名		選抜区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名等 教科	科目名等	教科・科目に係る個別テスト等の実施科目名等 教科等	科目名等	大学入学共通テスト，教科・科目に係る個別テスト等の配点等 試験の区分	国語	地理歴史	公民	数学①	数学②	理科	外国語	情報	実技	面接	小論文	その他	調査書	本人の記載する資料	配点合計	備考
教育学部	学校教育課程 初等教育コース（9） 中等教育コース（4）	統合型 初等教育コース（9） 中等教育コース（4）	国語 地理歴史 公民 数学① 数学② 理科 外国語 情報	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』，『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 から１ 『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅱ，数学B，数学C』 『物理』，『化学』，『生物』，『地学』 から２ 『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』 から１ 『情報Ⅰ』 〔６教科８科目〕	実技等 調査書等	「小論文」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定の資料とする	共通テスト	200	100		100	100	200	200	100							1000	
							教科・科目に係る個別テスト等											400		○		400	
							計	200	100		100	100	200	200	100			400				1400	
				または（★）																			
			国語 地理歴史 公民 数学① 数学② 理科 外国語 情報	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』，『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 から２ 『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅱ，数学B，数学C』 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』 から１ 『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』 から１ 『情報Ⅰ』 〔６教科８科目〕または〔７教科８科目〕			共通テスト	200	200		100	100	100	200	100							1000	
							教科・科目に係る個別テスト等											400		○		400	
							計	200	200		100	100	100	200	100			400				1400	

注意（前期日程・後期日程共通）

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

○「地理歴史」及び「公民」において，2科目を選択する場合は，以下の組合せ以外の科目の組合せを選択すること。
- 『公共，倫理』と『公共，政治・経済』の組合せを選択することはできません。
- 『地理総合／歴史総合／公共』を選択した場合は，選択解答した出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。

○「地理歴史」及び「公民」並びに「理科」の科目において，本学が1科目を課す場合の2科目受験者の成績の利用は，第1解答科目の得点を採用します。

○「地理歴史」及び「公民」において，『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合，「地理総合」，「歴史総合」，「公共」のうち，2出題範囲を選択解答するものとします。

○「理科」において，『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合，「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」のうち，2出題範囲を選択解答するものとします。

○（★印）実技型（音楽），実技型（体育）及び統合型の選抜区分において，受験者が，指定する教科・科目の組合せのどちらの場合も満たす場合には，高得点となる組合せを採用します。

○『英語』は，リーディングの得点（100点満点）を150点に，リスニングの得点（100点満点）を50点に換算し，合計得点（200点満点）を本学の配点に換算します。ただし，リスニングを免除されている場合には，『英語』のリーディングの得点（100点満点）を本学の配点に換算します。

【大学入学共通テスト，教科・科目に係る個別テスト等の配点等】欄

○ ＊印は選択を示します。

○「100/*400」は，教科・科目に係る個別テストでその教科を選択しなかった場合は大学入学共通テストのみの点数100点，選択した場合は，大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストの点数で合計400点となることを示します。

【教科・科目に係る個別テスト等の実施科目名等】欄

○ 数学の出題範囲のうち，「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」は全範囲とします。「数学A」は，「図形の性質」及び「場合の数と確率」，「数学B」は，「数列」及び「統計的な推測」，「数学C」は，「ベクトル」及び「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

Ⅲ　医学部

１．アドミッション・ポリシー

（１）医学部で養成する人物像

医学科	① 高い倫理観・責任感，優れた共感力とコミュニケーション力を備えた患者中心の医療を実践できる臨床医を育成する。 ② 医学および関連領域の知識と技能を応用して，医療における高度専門職業人として活躍できる医師・医学研究者を育成する。 ③ 地域のニーズを踏まえた地域医療を実践できるとともに，グローバルな視点に立って医療の国際化に貢献できる臨床医を育成する。
看護学科	① 高い倫理観・責任感，良識ある人間性とコミュニケーション力を備えた対象者中心の看護を実践できる看護師・保健師・助産師を育成する。 ② 看護学及び関連領域の知識と技能を応用し，高度専門職業人として活躍できる看護師・保健師・助産師を育成する。 ③ 地域のニーズを踏まえた看護を実践できるとともに，グローカルな視点に立ち「ふくい」の地域医療に貢献できる看護師・保健師・助産師を育成する。

（２）求める学生像

（２－１）求める学生像

医学科	① 医師となるにふさわしい豊かな人間性，周囲との協調性，コミュニケーション力，責任感を有する人 ② 奉仕の精神を持ち，人を思いやり，尊重することのできる人 ③ 医学教育内容を十分理解するために必要な幅広い基礎学力と応用能力に富み，自ら学び続ける学修意欲のある人 ④ 医学・医療を通じて地域社会や国際社会に貢献しようとする強い情熱と意欲を持つ人 ⑤ 地域を愛し，医師として地域医療に貢献することを望む人 ⑥ 医学・生命科学に強い関心をもち医学研究者になることを望む人
看護学科	① 看護に関心を持ち，将来看護職として，地域医療に貢献したいと考える人 ② 倫理的感性を有し，人間の尊厳と権利を尊重することができる人 ③ グローバル化が進展する社会に関心をもつことができる人 ④ 基礎学力の上にたって，人と地域社会に関心をもって学習に臨める人 ⑤ 協調性がありコミュニケーション能力のある人 ⑥ 誠実な心を持ち，主体的で意欲のある人

（２-２）入学前に学習しておくことが期待される内容

医学科では，高等学校段階までの数学や理科，英語をしっかりと学び，加えて国語，地歴公民，情報を含む６教科を総合的に学び，基礎学力が十分身についていることが必要です。６教科を広く学ぶことで医学を学び生かす基礎学力と応用能力を養い，その中で人間性や協調性，責任感を身につけることを期待します。

看護学科では，高等学校段階までの基礎学力が幅広く十分身についていることが必要です。その中で人間性やコミュニケーション力を養い，基礎学力の上に立って人と地域社会に関心をもって学習に臨むことを期待します。

（３）入学者選抜の基本方針

【入学者選抜の基本方針】

医学科	様々な資質･背景を持つ多様な人に広く門戸を開くため，次のような選抜方法を行っています。全ての試験に面接試験を課し，医師としての資質・適性・将来性を判断することにより，「求める学生像」に相応しい人の選抜に努めています。 **① 一般選抜（前期日程）** 高等学校卒業者及びそれに準ずる学力を持った者に対し，大学入学共通テスト，教科・科目に係る個別テスト，面接の成績及び調査書の内容を総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストに加え，教科・科目に係る個別テストを課し，医学を学び生かす基礎学力や科学的，論理的思考力を評価します。 **②一般選抜（後期日程）** 高等学校卒業者及びそれに準ずる学力を持った者に対し，大学入学共通テスト，小論文，面接の成績及び調査書の内容を総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストに加え，小論文を課し，医学を学び生かす基礎学力や科学的，論理的思考力を評価します。 **③学校推薦型選抜Ⅱ：全国枠** 学習成績や人格に優れた者として高等学校長の推薦する高等学校卒業見込み者及び１年前に高等学校を卒業した者に対し，大学入学共通テスト，面接の成績及び提出書類（推薦書，志願理由書，調査書）を審査し，総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストの成績で医学を学び生かす基礎学力や科学的，論理的思考力を評価すると共に，面接と書類審査によって「求める学生像」に相応しい人を選抜します。 **④学校推薦型選抜Ⅱ：地元出身者枠** 学習成績や人格に優れ，福井県内において医療に従事する強い意思を有し，かつ高等学校長の推薦する福井県内の高等学校卒業見込み者及び１年前に高等学校を卒業した者等に対し，大学入学共通テスト，面接の成績及び提出書類（推薦書，志願理由書，調査書）を審査し，総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストの成績では医学を学び生かす基礎学力や科学的，論理的思考力を評価すると共に，面接と書類審査では福井県内の医療に従事する強い意思を評価します。 **⑤学校推薦型選抜Ⅱ：地域枠（福井健康推進枠）** 学習成績や人格に優れ，福井県内において医療に従事する強い意思を有し，かつ高等学校長の推薦する高等学校卒業見込み者及び１年前に高等学校を卒業した者に対し，大学入学共通テスト，面接の成績及び提出書類（推薦書，志願理由書，調査書）を審査し，総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストの成績では医学を学び生かす基礎学力や科学的，論理的思考力を評価すると共に，面接と書類審査では福井県内の医療に従事する強い意思を評価します。

看護学科	「求める学生像」にふさわしい者を選抜するため，多様な観点から受験者の学力や資質を評価します。また，全ての試験に面接を課し，看護を学ぶ意欲・積極性・表現力・協調性・一般的態度を評価することにより，アドミッション・ポリシーに沿った入学者選抜に努めています。 **① 一般選抜（前期日程）** 高等学校卒業者及び同等以上の学力があると認めた者に対し，大学入学共通テスト，小論文，面接の成績及び調査書の内容を総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストでは高等学校等での教科面における学習達成度を評価します。小論文及び面接では，看護を学ぶための適性を総合的に評価するとともに，調査書により受験者の資質を評価します。 **② 一般選抜（後期日程）** 高等学校卒業者及び同等以上の学力があると認めた者に対し，大学入学共通テスト，面接の成績及び調査書の内容を総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストでは高等学校等での教科面における学習達成度を評価します。面接では，看護を学ぶための適性を総合的に評価するとともに，調査書により受験者の資質を評価します。 **③ 学校推薦型選抜Ⅰ** 人物，学力ともに優秀であると高等学校長から推薦された高等学校卒業見込者に対し，小論文，面接の成績及び提出書類（推薦書，志願理由書，調査書）を審査し，総合的に評価して選抜します。小論文及び面接では，看護を学ぶための適性を総合的に評価するとともに，書類審査により受験者の資質を評価します。

入学者選抜方針に基づき，以下の入試区分ごとに示す方法で，学力の3要素等を多面的･総合的に評価し，入学者を選抜します。

【医学科】

入試区分	評価方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	教科・科目に係る個別テスト	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書	○		○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書	○		○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面接	○	○	○
	推薦書			○
	志願理由書		○	○
	調査書	○		○

○は重視するもの

【看護学科】

入試区分	評価方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書	○		○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書	○		○
学校推薦型選抜Ⅰ	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	推薦書			○
	志願理由書		○	○
	調査書	○		○

○は重視するもの

２．教科・科目に係る個別テスト等の日程

日程		学科	試験教科・科目等	試験時間
前期日程	2月25日（木）	医学科	数　学（110分）	9:20～11:10
			理　科（物理基礎・物理，化学基礎・化学，生物基礎・生物）　（120分）（試験時に２科目を選択）	12:20～14:20
			外国語（英　語）（110分）	15:10～17:00
		看護学科	小論文（90分）	9:20～10:50
			面　接	12:20～
	2月26日（金）	医学科	面　接	9:30～
後期日程	3月12日（金）	医学科	小論文（90分）	9:30～11:00
			面　接	13:00～
		看護学科	面　接	9:30～

受験上の注意事項：

ア．試験室には，受験する科目の試験開始時刻の 20 分前までに入室してください。

医学科の前期日程の面接における集合時間については，２月25日（木）の試験終了時までに試験場入口に掲示します。面接は午前の部と午後の部に分けて実施します。午前の部受験者は午後の部受験者が揃い次第一斉解散，午後の部受験者は面接が終わり次第順次解散となります。

イ．試験開始に遅刻した場合は，試験開始後 30 分以内に限り，受験を認めます。

ただし，面接は，集合時間に遅刻した場合，特別の事情がない限り受験を認めません。

ウ．本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合は，失格となります。

３．入学者選抜方法等

（１）大学入学共通テスト並びに教科・科目に係る個別テスト等及び調査書の内容を総合して選抜します。

（２）医学科の前期日程・後期日程において，２段階選抜を実施します。その第１段階選抜の合格者に対してのみ教科・科目に係る個別テスト等を実施します。看護学科では，２段階選抜は行いません。

①２段階選抜

志願者数が前期日程で募集人員の約５倍を超えた場合，後期日程で募集人員の約７倍を超えた場合に，大学入学共通テストの利用教科・科目の配点による成績の総得点により，第１段階選抜を行うことがあります。その場合には，第１段階選抜合格者に対してのみ教科・科目に係る個別テスト等を実施します。

２段階選抜を実施する場合，以下の日時に本学ホームページにおいて第１段階選抜合格者の受験番号を掲載します。**第１段階選抜については，合格通知書および不合格通知書の送付は行いませんので，注意してください。**電話等での合否の問い合わせには一切応じません。

※受験番号は，出願時にインターネット出願システムから出力する「出願確認票」で確認できます。

また，受験票は第１段階選抜合格者のみ，令和９年２月18日（木）９時から出力可能になります。

【前期日程】　令和９年２月10日（水）16時

【後期日程】　令和９年２月12日（金）10時

なお，２段階選抜を実施しない場合は，その旨を上記の日時に本学ホームページで公表します。

②第１段階選抜不合格者に対する検定料の一部返還についての取扱い

第１段階選抜不合格者は，検定料の一部（13,000円）を返還請求できます。手続方法等詳細は，「４．出願手続」の「（４）検定料の支払方法」（9・10ページ）を参照してください。

（３）大学入学共通テストの利用教科・科目名，教科・科目に係る個別テスト等の教科・科目名及びその配点については，「６．入学者選抜の実施教科・科目，配点等」（36ページ）を参照してください。

（４）**大学入学共通テストの得点と教科・科目に係る個別テスト等の得点が本学の定める基準に達していない場合は，募集人員内でも合格とならないことがあります。**

４．小論文，面接の内容（出題方針）等

日程	学　科	区　分	小論文，面接の内容（出題方針）等
前期日程	医学科	面　接	個人面接により人間性，自主性，思考力，表現力，責任感など医学科学生としての適性，能力を評価します。
	看護学科	小論文	国際・地域の諸課題を提示し，課題の理解力，論理の構成力，文章表現力等を総合的に評価します。
		面　接	個人面接により看護・社会に関心を持ち，看護学を学ぶ積極性，表現力等，看護学生としての適性や能力等に加え，地域医療に対する意欲についても評価します。
後期日程	医学科	小論文	課題（和文，英文の両方又はいずれかで出題されます）の理解力，論理の構成力，文章表現力等を評価します。
		面　接	個人面接により人間性，自主性，思考力，表現力，責任感など医学科学生としての適性，能力を評価します。
	看護学科	面　接	個人面接により看護に関心を持ち，看護学を学ぶ意欲及び積極性，表現力，一般的態度等を評価します。

５．注意事項

本学が指定した令和９年度大学入学共通テストの教科・科目を一部でも受験していない者は出願無資格者となります。また，「地理歴史」,「公民」及び看護学科「理科」の科目において，２科目受験者の成績の利用は，第１解答科目の得点を採用します。**第１解答科目が本学の指定した科目でない場合には，出願無資格者となりますので，志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認**してください。なお，**出願無資格者であることが判明した者は，教科・科目に係る個別テスト等を受験することができません。**

６．入学者選抜の実施教科・科目，配点等

前期日程　2月25日，26日（医学科のみ）

［令和9年度］

学部・学科名	大学入学共通テストの利用教科・科目名等		教科・科目に係る個別テスト等の実施科目名等		大学入学共通テスト，教科・科目に係る個別テスト等の配点等																	備考
	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	教科								実技等				調査書等		配点合計	
						国語	地理歴史	公民	数学①	数学②	理科	外国語	情報	実技	面接	小論文	その他	調査書	本人の記載する資料		
医学部 医学科 前期(55)	国語 地理歴史 公民 数学① 数学② 理科 外国語 情報	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 から１ 『数学Ⅰ，数学Ａ』 『数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ』 『物理』，『化学』，『生物』 から２ 『英語』 『情報Ⅰ』 〔６教科８科目〕	数学 理科 外国語 実技等 調査書等	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ」 「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」 から２ 「英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ・論理・表現Ⅰ・論理・表現Ⅱ・論理・表現Ⅲ」 「面接」 「調査書」 ※調査書は面接の際に活用します	共通テスト	200	100		100	100	200	200	100							1000	
					教科・科目に係る個別テスト等				200		200	200			100			○		700	
					計	200	100		400		400	400	100		100					1700	
医学部 看護学科 前期(30)	国語 地理歴史 公民 数学① 数学② 理科 外国語 情報	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』，『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 から１ 『数学Ⅰ，数学Ａ』 『数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ』 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（「地学基礎」は選択不可），『物理』，『化学』，『生物』 から１ 『英語』 『情報Ⅰ』 〔６教科７科目〕	実技等 調査書等	「小論文」 「面接」 「調査書」 ※調査書は面接の際に活用します	共通テスト	200	100		50	50	100	200	50							750	
					教科・科目に係る個別テスト等										150	100		○		250	
					計	200	100		50	50	100	200	50		150	100				1000	

後期日程　3月12日

学部・学科名	大学入学共通テストの利用教科・科目名等		教科・科目に係る個別テスト等の実施科目名等		大学入学共通テスト，教科・科目に係る個別テスト等の配点等																	備考
	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	教科								実技等				調査書等		配点合計	
						国語	地理歴史	公民	数学①	数学②	理科	外国語	情報	実技	面接	小論文	その他	調査書	本人の記載する資料		
医学部 医学科 後期(25)	国語 地理歴史 公民 数学① 数学② 理科 外国語 情報	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 から１ 『数学Ⅰ，数学Ａ』 『数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ』 『物理』，『化学』，『生物』 から２ 『英語』 『情報Ⅰ』 〔６教科８科目〕	実技等 調査書等	「小論文」 「面接」 「調査書」 ※調査書は面接の際に活用します	共通テスト	100	50		50	50	100	100	50							500	
					教科・科目に係る個別テスト等										120	100		○		220	
					計	100	50		50	50	100	100	50		120	100				720	
医学部 看護学科 後期(5)	国語 地理歴史 公民 数学① 数学② 理科 外国語 情報	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』，『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 から１ 『数学Ⅰ，数学Ａ』 『数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ』 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（「地学基礎」は選択不可），『物理』，『化学』，『生物』 から１ 『英語』 『情報Ⅰ』 〔６教科７科目〕	実技等 調査書等	「面接」 「調査書」 ※調査書は面接の際に活用します	共通テスト	200	100		50	50	100	200	50							750	
					教科・科目に係る個別テスト等										200			○		200	
					計	200	100		50	50	100	200	50		200					950	

注意（前期日程・後期日程共通）

医学部医学科においては，志願者数が前期日程で募集人員の約5倍を超えた場合，後期日程で募集人員の約7倍を超えた場合に，大学入学共通テストの利用教科・科目の配点による成績の総得点により，第1段階選抜を行うことがあります。
その場合は，第1段階選抜合格者に対してのみ教科・科目に係る個別テスト等を実施します。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

○「地理歴史」，「公民」及び看護学科の「理科」において，2科目受験者の成績の利用は，第1解答科目の得点を採用します。第1解答科目が本学の指定した科目でない場合には，無資格者となりますので十分注意してください。
○ 医学部看護学科の「地理歴史」及び「公民」において，『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合，「地理総合」，「歴史総合」，「公共」のうち，2出題範囲を選択解答するものとします。
○ 医学部看護学科の「理科」において，『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合，「地学基礎」を除き，「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」のうち，2出題範囲を選択解答するものとします。
○『英語』は，リーディングの得点（100点満点）を150点に，リスニングの得点（100点満点）を50点に換算し，合計得点（200点満点）を本学の配点に換算します。ただし，リスニングを免除されている場合には，『英語』のリーディングの得点（100点満点）を本学の配点に換算します。

【教科・科目に係る個別テスト等の実施科目等】欄

○「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ」は，「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学Ａ」の全範囲から出題します。「数学Ｂ」は「数列」，「統計的な推測」から，「数学Ｃ」は「ベクトル」，「平面上の曲線と複素数平面」から出題します。
○「物理基礎・物理」は，「物理基礎」と「物理」の全範囲から出題します。
○「化学基礎・化学」は，「化学基礎」と「化学」の全範囲から出題します。
○「生物基礎・生物」は，「生物基礎」と「生物」の全範囲から出題します。
○ 面接の評価が著しく低い場合には，総合得点にかかわらず不合格とすることがあります。

Ⅳ　工学部

１．アドミッション・ポリシー

（１）工学部で養成する人材像

工学部では，「安全で安心な社会の創造」に寄与することを目的に，広く工学全般にわたって教育研究を行い，その成果を社会に還元します。この方針のもと，人材養成の基本コンセプトとして「グローバルな視点で夢を描き，それを形にできる技術者“グローバルイマジニア”の育成」を掲げ，安全で安心な社会の創造のための知識・教養，幅広い専門知識に裏打ちされた高度な専門能力，さらに歴史や文化，習慣の違いを超えて世界の人々と協働し，倫理観を持ち主体的に行動できる総合的な能力を備えた高度専門技術者を養成します。

各学科では，以下のような人材を養成します。

機械・システム工学科	多種多様な革新的機械・システム技術の創造や原子力の安全性向上に貢献し，ものづくりを通して，安全で安心な社会の構築と持続に貢献できる人材を養成します。
電気電子情報工学科	電気工学から発し，歴史とともに拡大・細分化してきた通信工学，半導体工学，計算機工学，情報工学の学問分野を広くカバーするカリキュラムにより，電気系，情報系の学問基礎の体系的な修得と両分野に跨る分野横断的な応用力と実践力を有する人材を養成します。
建築・都市環境工学科	建築学と土木工学の基礎を修め，社会基盤施設の維持・管理，国土の強靭化，少子高齢化社会への対応，環境調和型の生活空間の構築等の課題に真摯に取り組み，安全・安心で快適な社会生活環境の実現に貢献できる実践力ある人材を養成します。
物質・生命化学科	高性能・高機能な材料・繊維の創製に向けた教育・研究，化学製品の合成・開発・利用を指向した物質の探求，医学・農学と工学の融合分野への応用を目指したバイオテクノロジー教育などを通じて，持続可能で豊かな社会の実現に向けて，地域社会から国際社会の様々な分野において活躍できる人材を養成します。
応用物理学科	工学の幅広い分野に対応できる確固とした理工学の知識・思考方法・応用能力を修得するとともに，総合的な実践力や産業関連知識を自ら学び，課題解決につなげる力，グローバルな行動力，倫理観を身につけた物理を中心とした基礎科学を応用展開できる人材を養成します。

（２）求める学生像

（２－１）求める学生像

工学部では，養成する人材像を踏まえ，以下のような学生を求めます。

１．グローバルイマジニアとして地域社会や国際社会に貢献する意欲を有する人

２．高等学校教育またはそれに準ずる教育課程において，理工学分野の基礎となる知識及び実践力を習得している人

３．正確な文章読解，論理的な記述，適切な表現などの基本的な言語運用能力を有する人

４．豊かな人間性，周囲との協調性，奉仕の精神を有し，柔軟な発想力をもって課題解決に向け主体的に行動できる人

特に，各学科では以下のような入学者を求めます。

機械・システム工学科	１．ものづくりに興味があり，機械工学・ロボティクス・原子力安全工学の基礎となる数学や理科が好きな人 ２．機械工学・ロボティクス・原子力安全工学に関する専門的な知識を身につけたい人 ３．機械工学・ロボティクス・原子力安全工学のエンジニアとして，ものづくりにより社会に貢献する意欲を有する人 ４．ダイバーシティ（多様性）を尊重し，全ての人が活躍できる社会の構築に，エンジニアとして貢献する意欲を有する人
電気電子情報工学科	１．電気・電子・情報分野を伝承するとともに，新たな創造に挑戦したい人 ２．電気，電子，コンピュータを学ぶための数学や物理が好きな人 ３．論理的思考力を問題解決に活かしたい人
建築・都市環境工学科	１．建物のデザインや安全性，建築環境の改善や創造に興味を持つ人 ２．社会基盤や都市のデザイン，安全性，都市環境の改善や創造に興味を持つ人
物質・生命化学科	１．物質や生命の不思議にワクワクする人 ２．創造する化学にチャレンジしたい人 ３．新素材，繊維，バイオに興味がある人
応用物理学科	１．物理や数学に基づいて，ものごとを基本に返って考える能力を有する人 ２．先端科学技術分野への強い興味を持つ人 ３．ものづくりや実験の基礎となる知識・技能を有している人

（２－２）入学までに学習しておくことが期待される内容

工学部では，高等学校段階までの数学や理科に関する基礎学力が十分身に付いていることを前提に専門教育を行います。また，それら以外の教科に関する知識も，ものごとを多面的にとらえ，専門知識を「安全で安心な社会の創造」に結び付けるための基礎となります。これらのことから，高等学校段階では，数学や理科はもちろん，それ以外についても幅広く学習し，視野を広げておくことを期待します。

（３）入学者選抜の基本方針

多様な背景を持った学生の受入れを進めるため，一般選抜（前期日程，後期日程），学校推薦型選抜Ⅰ，総合型選抜Ⅱ，私費外国人留学生選抜，第３年次編入学試験を実施します。それぞれの選抜においては，求める学習成果を踏まえ，志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

【一般選抜】

大学入学共通テスト並びに教科・科目に係る個別テスト及び調査書を用いて評価・判定します。

＜前期日程＞

機械・システム工学科 電気電子情報工学科 応用物理学科	大学入学共通テストにより，基礎的学力を総合的に評価します。さらに，教科・科目に係る個別テスト（数学，物理）により，数学と物理に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的に思考を展開する能力を，その過程や結果を表現する能力とともに評価します。以上の結果と調査書の内容により，能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。
建築・都市環境工学科 物質・生命化学科	大学入学共通テストにより，基礎的学力を総合的に評価します。さらに，教科・科目に係る個別テスト（数学，物理又は化学）により，数学と物理又は化学に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的に思考を展開する能力を，その過程や結果を表現する能力とともに評価します。以上の結果と調査書の内容により，能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。

＜後期日程＞

機械・システム工学科 電気電子情報工学科 建築・都市環境工学科 応用物理学科	大学入学共通テストにより，基礎的学力を総合的に評価します。さらに，教科・科目に係る個別テスト（数学）により，数学に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的に思考を展開する能力を，その過程や結果を表現する能力とともに評価します。以上の結果と調査書の内容により，能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。
物質・生命化学科	大学入学共通テストにより，基礎的学力を総合的に評価します。さらに，面接（口頭試問を含む）により，目的意識・意欲，表現力等を評価します。以上の結果と調査書の内容により，能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。

【学校推薦型選抜Ⅰ】

出身学校長の推薦に基づいて，大学入学共通テストを免除し，調査書等を活用して評価・判定します。

電気電子情報工学科	大学入学共通テストを免除し，推薦書，調査書，志願理由書，面接（口頭試問を含む）の結果を総合して能力・意欲・適性等を評価・判定します。
機械・システム工学科（高大接続型入試）	大学入学共通テストを免除し，推薦書，調査書，志願理由書及び面接及びプレゼンテーションの結果を総合して能力・意欲・適性等を評価・判定します。
建築・都市環境工学科（高大接続型入試）	大学入学共通テストを免除し，推薦書，調査書，志願理由書及び面接（口頭試問を含む）及びプレゼンテーションの結果を総合して能力・意欲・適性等を評価・判定します。
物質・生命化学科（高大接続型入試）	大学入学共通テストを免除し，推薦書，調査書，志願理由書，面接（口頭試問を含む）の結果を総合して能力・意欲・適性等を評価・判定します。

【総合型選抜Ⅱ】

大学入学共通テスト，書類審査，面接等を組み合わせて評価・判定します。

機械・システム工学科	書類審査により文章力や自己アピール力等の評価を行うとともに，大学入学共通テストと調査書等により基礎学力を総合的に評価し，さらに面接により， 目的意識・意欲，表現力等を確認します。以上を総合して，能力・適性や学習に対する意欲，目的意識等を評価・判定します。
電気電子情報工学科 建築・都市環境工学科 物質・生命化学科 応用物理学科	書類審査により文章力や自己アピール力等の評価を行うとともに，大学入学共通テストと調査書等により基礎学力を総合的に評価し，さらに面接（口頭試問を含む）により， 目的意識・意欲，表現力及び学科の学修において必要となる論理的思考力等を評価します。以上を総合して，能力・適性や学習に対する意欲，目的意識等を評価・判定します。

【私費外国人留学生選抜】

真に修学を目的とした志願であることの確認も含め，能力・意欲・適性等を評価・判定します。

全学科共通	日本留学試験及び TOEFL の成績，並びに，面接，口頭試問及び出願書類により，日本語能力と理数系科目の学力を中心とした能力，意欲，適性，目的意識等を総合的に評価・判定します。

入学者選抜方針に基づき、以下の入試区分ごとに示す方法で、学力の３要素等を多面的・総合的に評価し、入学者を選抜します。多面的・総合的な評価・判定を行うにあたり重視するものに○を付しています。ただし，○を付していないものでも，その評価結果が著しく低い場合には，判定に大きく影響します。

学力の３要素		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性・多様性・協働性	
求める学習成果		・高等学校段階までに学ぶ幅広い教科・科目の知識・技能 ・工学部における学修の基礎である数学や理科に関する知識・技能		・左記の知識・技能を課題の解決につなげるための思考力・判断力・表現力		・志望する学科の専門分野に対する強い興味 ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
一般選抜 （前期日程）	全学科	○	大学入学共通テスト	○ ○	大学入学共通テスト 教科・科目に係る個別テスト		調査書
一般選抜 （後期日程）	MS,EI, AC,AP	○	大学入学共通テスト	○ ○	大学入学共通テスト 教科・科目に係る個別テスト		調査書
	MB	○	大学入学共通テスト	○ ○	大学入学共通テスト 面接（口頭試問を含む）		調査書
学校推薦型選抜Ⅰ	EI	○	調査書 面接（口頭試問を含む）	○	面接（口頭試問を含む） 志願理由書	○	推薦書，調査書，志願理由書 面接（口頭試問を含む）
学校推薦型選抜Ⅰ （高大接続型入試）	MS	○	調査書 面接	○	面接 志願理由書	○ ○	推薦書，調査書，志願理由書 面接 プレゼンテーション
	AC,MB	○	調査書 面接（口頭試問を含む）	○	面接（口頭試問を含む） 志願理由書	○ ○	推薦書，調査書，志願理由書 面接（口頭試問を含む） プレゼンテーション（AC）
総合型選抜Ⅱ	MS	○ ○	大学入学共通テスト 調査書	○ ○	大学入学共通テスト 面接 志願理由書 自己推薦書	○	自己推薦書，調査書，志願理由書 面接
	EI,AC, MB,AP	○ ○	大学入学共通テスト 調査書	○ ○	大学入学共通テスト 面接（口頭試問を含む） 志願理由書 自己推薦書	○	自己推薦書，調査書，志願理由書 面接（口頭試問を含む）
私費外国人留学生選抜	全学科	○ ○	日本留学試験 成績証明書 TOEFL	○	面接及び口頭試問	○	面接及び口頭試問

MS:機械・システム工学科，EI：電気電子情報工学科，AC:建築・都市環境工学科，MB：物質・生命化学科， AP:応用物理学科

２．教科・科目に係る個別テスト等の日程

日程		学科	試験教科・科目等	試験時間
前期日程	2月25日（木）	全学科	数学（110分）	9:20～11:10
		機械・システム工学科 電気電子情報工学科 応用物理学科	理科（物理基礎・物理）（110分）	12:20～14:10
		建築・都市環境工学科 物質・生命化学科	理科（物理基礎・物理） 理科（化学基礎・化学） （110分） （試験時に１科目を選択）	
後期日程	3月12日（金）	機械・システム工学科 電気電子情報工学科 建築・都市環境工学科 応用物理学科	数学（110分）	9:30～11:20
		物質・生命化学科	面接（口頭試問を含む）	9:30～ ※集合場所の面接控室前で必ず受付をしてください。受付は，8:30から開始します。

受験上の注意事項：

ア．試験室には，受験する科目の試験開始時刻の 20 分前までに入室してください。

イ．試験開始に遅刻した場合は，試験開始後 30 分以内に限り，受験を認めます。

ウ．本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合は，失格となります。

３．入学者選抜方法等

（１）大学入学共通テスト並びに教科・科目に係る個別テスト等及び調査書を総合して選抜します。

（２）工学部では，前期日程，後期日程とも２段階選抜は実施しません。

（３）大学入学共通テストの利用教科・科目名，教科・科目に係る個別テスト等の教科・科目名及びその配点については，「５．入学者選抜の実施教科・科目，配点等」（44・45ページ）を参照してください。

（４）**大学入学共通テストの得点と教科・科目に係る個別テスト等の科目の得点が本学の定める基準に達していない場合は，募集人員内でも合格とならないことがあります。**

４．面接の内容（出題方針）等

日程	学科	区分	面接の内容（出題方針）等
後期日程	物質・生命科学科	面接	基礎学力及び人物的に優れている人を求めます。 学習意欲，チャレンジ精神，論理性等を面接試験で判断し，学力と人物の総合判定を行います（口頭試問を含む）。

５．注意事項

本学が指定した令和９年度大学入学共通テストの教科・科目を一部でも受験していない者は出願無資格者となります。また，「地理歴史」,「公民」の科目において，２科目受験者の成績の利用は，第１解答科目の得点を採用します。本学は出願期間終了後に大学入試センターからのデータに基づいてのみ，この確認を行いますので，**志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認**してください。なお，**出願無資格者であることが判明した者は，教科・科目に係る個別テスト等を受験することができません。**

６．入学者選抜の実施教科・科目，配点等

前期日程　2月25日

［令和９年度］

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名等		教科・科目に係る個別テスト等の実施科目名等		大学入学共通テスト，教科・科目に係る個別テスト等の配点等																備考
		教科	科　目　名　等	教科等	科　目　名　等	試験の区分	教科							実技等				調査書等		配点合計		
							国語	地理歴史	公民	数学 ①	数学 ②	理科	外国語	情報	実技	面接	小論文	その他	調査書	本人の記載する資料		
工学部	機械・システム工学科 前期(75)	国語 地理歴史 公民 数学① 数学② 理科 外国語 情報	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』， 『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』　から１ 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 『数学Ⅰ，数学Ａ』 『数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ』 『物理』，『化学』，『生物』，『地学』　から２ 『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』　から１ 『情報Ⅰ』 〔６教科８科目〕	数学 理科 調査書等	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ」 「物理基礎・物理」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定の資料とする	共通テスト	200	100		100	100	200	200	100							1000	
						教科・科目に係る個別テスト等				300		300							○		600	
						計	200	100		500		500	200	100							1600	
	電気電子情報工学科 前期(63)	国語 地理歴史 公民 数学① 数学② 理科 外国語 情報	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』， 『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』　から１ 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 『数学Ⅰ，数学Ａ』 『数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ』 『物理』 『化学』，『生物』，『地学』　から１ 『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』　から１ 『情報Ⅰ』 〔６教科８科目〕	数学 理科 調査書等	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ」 「物理基礎・物理」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定の資料とする	共通テスト	200	100		100	100	200	200	100							1000	
						教科・科目に係る個別テスト等				300		300							○		600	
						計	200	100		500		500	200	100							1600	
	建築・都市環境工学科 前期(30)	国語 地理歴史 公民 数学① 数学② 理科 外国語 情報	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』， 『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』　から１ 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 『数学Ⅰ，数学Ａ』 『数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ』 『物理』，『化学』，『生物』，『地学』　から２ 『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』　から１ 『情報Ⅰ』 〔６教科８科目〕	数学 理科 調査書等	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ」 「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」　から１ 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定の資料とする	共通テスト	200	100		100	100	200	200	100							1000	
						教科・科目に係る個別テスト等				300		300							○		600	
						計	200	100		500		500	200	100							1600	
	物質・生命化学科 前期(75)	国語 地理歴史 公民 数学① 数学② 理科 外国語 情報	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』， 『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』　から１ 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 『数学Ⅰ，数学Ａ』 『数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ』 『物理』，『化学』，『生物』　から２ 『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』　から１ 『情報Ⅰ』 〔６教科８科目〕	数学 理科 調査書等	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ」 「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」　から１ 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定の資料とする	共通テスト	200	100		100	100	200	200	100							1000	
						教科・科目に係る個別テスト等				300		300							○		600	
						計	200	100		500		500	200	100							1600	
	応用物理学科 前期(20)	国語 地理歴史 公民 数学① 数学② 理科 外国語 情報	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』， 『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』　から１ 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 『数学Ⅰ，数学Ａ』 『数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ』 『物理』 『化学』 『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』　から１ 『情報Ⅰ』 〔６教科８科目〕	数学 理科 調査書等	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ」 「物理基礎・物理」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定の資料とする	共通テスト	200	100		100	100	200	200	100							1000	
						教科・科目に係る個別テスト等				300		300							○		600	
						計	200	100		500		500	200	100							1600	

後期日程　3月12日　　［令和９年度］

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名等		教科・科目に係る個別テスト等の実施科目名等		大学入学共通テスト，教科・科目に係る個別テスト等の配点等																備考
		教科	科　目　名　等	教科等	科　目　名　等	試験の区分	教科							実技等				調査書等		配点合計		
							国語	地理歴史	公民	数学 ①	数学 ②	理科	外国語	情報	実技	面接	小論文	その他	調査書	本人の記載する資料		
工学部	機械・システム工学科 後期(30)	国語 地理歴史 公民 数学① 数学② 理科 外国語 情報	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』　から１ 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅱ，数学B，数学C』 『物理』，『化学』，『生物』，『地学』　から２ 『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』　から１ 『情報Ⅰ』 〔６教科８科目〕	数学 調査書等	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定の資料とする	共通テスト	200	100		100	100	200	200	100							1000	
						教科・科目に係る個別テスト等				400									○		400	
						計	200	100		600		200	200	100							1400	
	電気電子情報工学科 後期(37)	国語 地理歴史 公民 数学① 数学② 理科 外国語 情報	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』　から１ 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅱ，数学B，数学C』 『物理』 『化学』，『生物』，『地学』　から１ 『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』　から１ 『情報Ⅰ』 〔６教科８科目〕	数学 調査書等	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定の資料とする	共通テスト	200	100		100	100	400 （物理 300 選択 100）	200	100							1200	
						教科・科目に係る個別テスト等				400									○		400	
						計	200	100		600		400	200	100							1600	
	建築・都市環境工学科 後期(17)	国語 地理歴史 公民 数学① 数学② 理科 外国語 情報	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』　から１ 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅱ，数学B，数学C』 『物理』，『化学』，『生物』，『地学』　から２ 『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』　から１ 『情報Ⅰ』 〔６教科８科目〕	数学 調査書等	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定の資料とする	共通テスト	200	100		100	100	200	200	100							1000	
						教科・科目に係る個別テスト等				300									○		300	
						計	200	100		500		200	200	100							1300	
	物質・生命化学科 後期(30)	国語 地理歴史 公民 数学① 数学② 理科 外国語 情報	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』　から１ 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅱ，数学B，数学C』 『物理』，『化学』，『生物』　から２ 『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』　から１ 『情報Ⅰ』 〔６教科８科目〕	実技等 調査書等	「面接（口頭試問を含む）」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定の資料とする	共通テスト	200	100		100	100	400 〔選択 各200〕	200	100							1200	
						教科・科目に係る個別テスト等										100			○		100	
						計	200	100		200		400	200	100		100					1300	
	応用物理学科 後期(20)	国語 地理歴史 公民 数学① 数学② 理科 外国語 情報	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』　から１ 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅱ，数学B，数学C』 『物理』 『化学』 『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』　から１ 『情報Ⅰ』 〔６教科８科目〕	数学 調査書等	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定の資料とする	共通テスト	200	100		100	100	200	200	100							1000	
						教科・科目に係る個別テスト等				400									○		400	
						計	200	100		600		200	200	100							1400	

注意（前期日程・後期日程共通）

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

○ 本学が課した教科・科目を受験していない者は失格となりますので,必ず本人の責任で確認してください。

○「地理歴史」,「公民」の科目において，2科目受験者の成績の利用は，第1解答科目の得点を採用します。

○「地理・歴史」及び「公民」において,『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合,「地理総合」,「歴史総合」,「公共」のうち,2出題範囲を選択解答するものとします。

○（後期日程）電気電子情報工学科の「理科」は,『物理』の得点を300点に,『化学』,『生物』,『地学』から選択した1科目を100点に換算し，合計得点（400点満点）を本学の配点に換算します。

○（後期日程）物質・生命化学科の「理科」は,『物理』,『化学』,『生物』から選択した2科目をそれぞれ200点に換算し，合計得点（400点満点）を本学の配点に換算します。

○『英語』は,リーディングの得点（100点満点）を150点に，リスニングの得点（100点満点）を50点に換算し，合計得点（200点満点）を本学の配点に換算します。ただし，リスニングを免除されている場合には,『英語』のリーディングの得点（100点満点）を本学の配点に換算します。

【教科・科目に係る個別テスト等の実施科目名等】欄

○「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」は,「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」は全範囲から出題します。「数学A」は「図形の性質」と「場合の数と確率」,「数学B」は「数列」,「数学C」は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

○「物理基礎・物理」は,「物理基礎」,「物理」の全範囲から出題します。

○「化学基礎・化学」は,「化学基礎」,「化学」の全範囲から出題します。

Ⅴ　国際地域学部

１．アドミッション・ポリシー

（１）国際地域学部において養成する人物像

国際地域学部では，地域や国際社会が抱える複雑な諸課題を探究し，課題解決を実現するための実践的・総合的な能力を身につけることによって，地域の創生を担いグローバル化社会の発展に寄与できる人材を育成します。

（２）求める学生像

（２－１）求める学生像

国際地域学部では，養成する人物像を踏まえ，以下のような学生を求めます。

①グローバル化によって地域から国際社会にまで起こっている複雑な諸課題について関心をもち，それについての探究を深め，課題解決に向けて主体的に取り組もうとする意欲のある人。

②課題の探究と解決に向けて，必要となる専門的な分野の学習に取り組む意欲を持つとともに，課題解決の方法を探り，他の人と協働して実践的に取り組んでいくことに積極的である人。

③世界共通語的性格をもつ英語をはじめとして，多文化社会の中で活躍できる外国語コミュニケーション能力を身につけることに意欲を持ち，他の人との対話を通して，活動を広げ深めようとする人。

（２－２）入学前に学習しておくことが期待される内容

国際地域学部では，高等学校あるいはそれに準ずる教育課程において学習する基礎的学力が十分身についていることを前提に，英語能力を含む人文・社会科学分野を中心とした専門的知識・技能に加えて，現代の複合的な課題を理解し解決するために必要なデータサイエンス等の自然科学分野の基礎的知識・技能も修得します。そのため，高等学校段階までに学ぶ各教科について，十分な基礎的学力を身に付けておくとともに，国や地域，文化や言語の多様性に目を向け，文系・理系の枠組みにとらわれず幅広い学問領域や現代社会の諸課題に対する興味を育んでおくことが期待されます。

（３）入学者選抜の基本方針

様々な資質と背景を持った学生を受け入れるため，以下のような多様な入学者選抜を実施し，それぞれの選抜において，求める学生像にふさわしい能力・意欲・適性等を多面的かつ総合的に評価します。

①一般選抜（前期日程）

幅広い基礎学力を総合的に評価するために，大学入学共通テストを課します。さらに，教科・科目の学力を重視した学力検査を実施し，専門分野の学習に必要な知識・能力を評価します。

②一般選抜（後期日程）

幅広い基礎学力を総合的に評価するために，大学入学共通テストを課します。さらに，小論文を課し，国際・地域社会に関わる課題を提示して論述させ，思考力・分析力・表現力を総合的に評価します。また，面接を実施し，国際・地域社会の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

③学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

幅広い基礎学力を総合的に評価するために，大学入学共通テストを課します。さらに，面接を実施し，国際・地域社会の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

④総合型選抜Ⅰ（高大接続型入試）（大学入学共通テストを課さない）

大学入学共通テストは免除し，第１次選考では，高校での取り組みやその成果に関するレポート等により，取り組みの内容と文章力及び自己アピール力等を評価します。さらに，提出された調査書等に基づき基礎的学力の評価を行います。最終選考では，取り組みに対するプレゼンテーション及び面接により，国際・地域社会の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

⑤私費外国人留学生選抜

出願書類（志願理由書，学習計画書）及びインターネットを利用した面接によって，日本語能力と国際地域学部で学ぼうとする意欲・資質・適性等を測ります。これらに日本留学試験と英語能力試験の成績を加えて総合的に評価します。

⑥私費外国人留学生選抜（外国人特別枠）

海外在住外国人を対象とし，英語能力試験の成績，日本語能力試験の成績，出願書類（志願理由書，推薦書，成績証明書）及びインターネットを利用した面接に基づき，国際地域学部で学ぼうとする意欲・資質・適性等を総合的に評価します。

上記の入学者選抜方針に基づき，以下の入試区分ごとに示す方法で，学力の３要素等を多面的・総合的に評価・判定し，入学者を選抜します。なお，評価を行うにあたり，重視するものに〇を付しています。学力検査の詳細と配点については募集要項に記載します。

入試区分	入学者選抜方法	基礎的な知識・技能	知識・技能を活用して，自ら課題を発見し，その解決に向けて探究し，成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持ち，多様な人々と協働しつつ学習する態度
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト	〇	〇	
	教科・科目に係る個別テスト	〇	〇	
	調査書			〇
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト	〇	〇	
	小論文	〇	〇	
	面接	〇	〇	〇
	調査書			〇

学校推薦型 選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面接	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
総合型選抜Ⅰ （高大接続型 入試）	高等学校等での取り組み とその成果に関する レポート	○	○	○
	プレゼンテーション			○
	面接	○	○	○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
私費外国人 留学生選抜	志願理由書		○	○
	学習計画書	○	○	○
	面接	○	○	○
	日本留学試験・ 英語能力試験	○		
	成績証明書	○		
私費外国人 留学生選抜 （外国人特別枠）	面接	○	○	○
	志願理由書		○	○
	推薦書			○
	日本語能力試験・ 英語能力試験	○		
	成績証明書	○		

２．教科・科目に係る個別テスト等の日程

日　　程		学　　科	試験教科・科目等	試 験 時 間	備　　考
前期日程	2月25日（木）	国際地域学科	数　　学（110分）	9:20～11:10	（出願時にどちらかを選択）
			国　　語（100分）	12:20～14:00	
			外国語（英語）（100分）	14:50～16:30	
後期日程	3月12日（金）	国際地域学科	小　論　文（120分）	9:30～11:30	
			面　　接	13:00～	

受験上の注意事項：

ア．試験室には，受験する科目の試験開始時刻の 20 分前までに入室してください。

イ．試験開始に遅刻した場合は，試験開始後 30 分以内の遅刻に限り，受験を認めます。

ウ．本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合は，失格となります。

エ．前期日程において，出願時に選択した教科・科目以外での受験はできません。

３．入学者選抜方法等

（１）大学入学共通テスト並びに教科・科目に係る個別テスト等及び調査書を総合して選抜します。

（２）前期日程，後期日程とも２段階選抜は実施しません。

（３）大学入学共通テストの利用教科・科目名，教科・科目に係る個別テスト等の教科・科目名及びその配点については，「６．入学者選抜の実施教科・科目，配点等」（51ページ）を参照してください。

（４）後期日程の面接時間の詳細については，小論文試験終了後にお知らせします。昼食を持参してください。

（５）**大学入学共通テストの得点と教科・科目に係る個別テスト等の得点が本学の定める基準に達していない場合は，募集人員内でも合格とならないことがあります。**

４．小論文，面接の内容（出題方針）等

日程	学　科	区　分	小論文，面接の内容（出題方針）等
後期日程	国際地域学科	小論文	国際・地域社会に関わる課題を提示して論述させ，思考力・分析力・表現力を評価します。資料や文献を用いることもあります。
		面　接	個人面接により国際・地域社会の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

５．注意事項

（１）**本学が指定した令和９年度大学入学共通テストの教科・科目を一部でも受験していない者は出願無資格者となり，本学の教科・科目に係る個別テスト等を受験することができません。志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認してください。**

（２）受験することを課した教科・科目において，指定された教科・科目数を超えて受験している場合は，高得点の教科・科目の成績を用います。ただし，「地理歴史」及び「公民」並びに「理科」の科目において，本学が１科目を課す場合の２科目受験者の成績の利用は，第１解答科目の得点を採用します。

（３）教科・科目に係る個別テストの選択教科は，出願時に選択してください。

６．入学者選抜の実施教科・科目，配点等

［令和９年度］

前期日程　2月25日

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名等		教科・科目に係る個別テスト等の実施科目名等		大学入学共通テスト，教科・科目に係る個別テスト等の配点等															備考
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	教科							実技等				調査書等			
							国語	地理歴史	公民	数学 ①	数学 ②	理科	外国語	情報	実技	面接	小論文	その他	調査書	本人の記載する資料	配点合計	
国際地域学部	国際地域学科 前期（30）	国語 地理歴史 公民 数学① 数学② 理科 外国語 情報	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』，『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 から２ 『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅱ，数学B，数学C』 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』 から１ 『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』 から１ 『情報Ⅰ』 〔６教科８科目〕または〔７教科８科目〕	国語 数学 から１ 外国語 調査書等	「現代の国語，言語文化，論理国語，古典探究」 「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C」 「英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定の資料とする	共通テスト	200	200		100	100	100	200	100								1000	
						教科・科目に係る個別テスト等	*300			*300			300						○			600	
						計	200/*500	200		200/*500		100	500	100								1600	

後期日程　3月12日

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名等		教科・科目に係る個別テスト等の実施科目名等		大学入学共通テスト，教科・科目に係る個別テスト等の配点等															備考
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	教科							実技等				調査書等			
							国語	地理歴史	公民	数学 ①	数学 ②	理科	外国語	情報	実技	面接	小論文	その他	調査書	本人の記載する資料	配点合計	
国際地域学部	国際地域学科 後期（12）	国語 地理歴史 公民 数学① 数学② 理科 外国語 情報	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』，『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 から１ 『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅱ，数学B，数学C』 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』 から１ 『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』 から１ 『情報Ⅰ』 〔４教科４科目または５科目〕	実技等 調査書等	「小論文」 「面接」 「調査書」 ※調査書は面接の際に活用する	共通テスト	*200	*200		*100	*100	*200	200	100								700	
			から２教科			教科・科目に係る個別テスト等										100	200		○			300	
						計	*200	*200		*200		*200	200	100		100	200					1000	

注意（前期日程・後期日程共通）

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

○ 受験することを課した教科・科目において，指定された教科・科目数を超えて受験している場合は，大学入試センターからのデータに基づいて高得点の教科・科目の成績を用います。

○「地理歴史」及び「公民」において，２科目を選択する場合は，以下の組合せ以外の科目の組合せを選択すること。

・『公共，倫理』と『公共，政治・経済』の組合せを選択することはできません。

・『地理総合／歴史総合／公共』を選択した場合は，選択解答した出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。

○「地理歴史」及び「公民」並びに「理科」の科目において，本学が1科目を課す場合の2科目受験者の成績の利用は，第1解答科目の得点を採用します。

○ 後期日程の数学の成績を用いるためには，「数学①」及び「数学②」を両方とも受験している必要があります。

○「地理歴史」及び「公民」において，『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合，「地理総合」，「歴史総合」，「公共」のうち，2出題範囲を選択解答するものとします。

○「理科」において，『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合，「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」のうち，2出題範囲を選択解答するものとします。

○『英語』は，リーディングの得点（100点満点）を150点に，リスニングの得点（100点満点）を50点に換算し，合計得点（200点満点）を本学の配点に換算します。ただし，リスニングを免除されている場合には，『英語』のリーディングの得点（100点満点）を本学の配点に換算します。

【大学入学共通テスト，教科・科目に係る個別テスト等の配点等】欄

○ ＊印は選択を示します。

○「200/*500」は，教科・科目に係る個別テストでその教科を選択しなかった場合は大学入学共通テストのみの点数200点，選択した場合は，大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストの点数で合計500点となることを示します。

【国際地域学部における英語外部試験の活用】

○ 英語外部試験の成績を活用し，TOEFL iBTが100点以上の者は，大学入学共通テストの『英語』の得点を満点（200点）としますので，出願書類と共に証明書を提出してください。ただし，英語外部試験の成績を提出する場合であっても，大学入学共通テストにおける『英語』を受験する必要があります。

※英語外部試験を活用する場合は令和7（2025）年4月以降に受験した成績証明書を提出してください。

【教科・科目に係る個別テスト等の実施科目名等】欄

○ 数学の出題範囲のうち，「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」は全範囲とします。「数学A」は，「図形の性質」及び「場合の数と確率」，「数学B」は，「数列」及び「統計的な推測」，「数学C」は，「ベクトル」を出題範囲とします。

Ⅵ　福井大学案内

１．目的及び使命

本学は，学術と文化の拠点として，高い倫理観のもと，人々が健やかに暮らせるための科学と技術に関する世界的水準での教育・研究を推進し，地域，国及び国際社会に貢献し得る人材の育成と，独創的でかつ地域の特色に鑑みた教育科学研究，先端科学技術研究及び医学研究を行い，専門医療を実践することを目的としています。

２．学部の紹介

（１）教育学部

教育学部には，小学校，特別支援学校，幼稚園などの教員を養成する「初等教育コース」と，中学校，高等学校などの教員を養成する「中等教育コース」の２つのコースがあります。

初等教育コースでは，小中一貫教育や幼小連携教育，地域と連携した教育，特別支援教育など現在の学校教育の課題を解決していく能力を備えた小学校教員，特別支援学校教員を養成します。

また，中等教育コースでは，中高一貫教育などを見据え，高度で体系的な専門知識を持って，主体的で協働的な学習を構想し実践することのできる中学校教員，高等学校教員を養成します。

○学位及び教員免許状

教育学部学校教育課程の卒業者は学士（教育学）の学位が授与されます。なお，学校教育課程で取得可能な教員免許状は次のとおりです。

コース	サブコース	小学校		中学校			高等学校		特別支援学校		幼稚園教諭	
		1種	2種	1種	2種	免許教科	1種	免許教科	1種	2種	1種	2種
初等教育	小学校教育	◎		○	○	国語，英語，社会，数学，理科，技術，家庭，音楽，美術，保健体育	○	国語，英語 地理歴史，公民 数学，理科， 工業，家庭， 音楽，美術， 保健体育，	○	○	○	○
	特別支援教育	◎		○	○		○		◎		○	○
中等教育	人文社会教育	○	○	◎	○		○		○	○		
	理数・生活教育	○	○	◎	○		○		○	○		
	芸術・スポーツ教育	○	○	◎	○		○		○	○		

◎　卒業要件となっている免許

○　必要単位を修得することで，取得できる免許

※ただし，所属するサブコースによって取得できる免許状の種類・教科の数には制限があります。

（２）医　学　部

医学部は，医の倫理に徹した，人格高潔な，信頼し得る臨床医及び医学研究者を育成することを目的とし，多くの優れた人材を送り出すとともに，医学の進展に貢献しています。

また，平成９年４月には，この基盤の上に，近年の保健医療に対する社会の要請に応えるため，医学部看護学科も設置されました。

①　医学科

ア．教育目的

確かな知識と技能に基づく質の高い臨床能力と，生命尊重を第一義とする共感力と倫理観を有し，根拠に立脚した患者中心の医療を実践できる医師や，医学の進展に貢献する高い資質を身につけた医学研究者を育成し，医学・医療の進歩を通じて社会に貢献することを目的としています。

イ．取得可能資格等

６年間の課程を卒業すると学士（医学）の学位が授与され，卒業後，国家試験に合格することによって医師の免許が得られます。

ウ．共用試験（CBT※1・Pre-CC OSCE※2・Post-CC OSCE※3）

共用試験実施評価機構が全国の医学科生を対象に実施する試験です。受験料が必要となります。

CBT※1：コンピューターで知識の理解度を問う試験。４年次に実施。

Pre-CC OSCE※2：態度・基本的臨床技能を医療面接・身体診察により問う試験。４年次に実施。

Post-CC OSCE※3：「診療参加型臨床実習」を終えた学生を対象に，臨床研修開始時に必要な能力を有しているかを評価する試験。６年次に実施。

※１　CBT＝Computer Based Testing　**知識･問題解決能力の客観的評価試験**

※２　Pre-CC OSCE＝Pre-Clinical Clerkship Objective Structured Clinical Examination
臨床実習前客観的臨床能力試験

※３　Post-CC OSCE＝Post-Clinical Clerkship OSCE　**臨床実習後客観的臨床能力試験**

エ．卒後臨床研修

医師国家試験の合格者は，医師免許を取得した後，２年間の卒後臨床研修が必要です。

②　看護学科

ア．教育目的

高い倫理観と良識ある人間性を有し，科学的根拠に基づいた看護を実践でき，知識・技能を生涯にわたり修得し続ける高度専門職業人を育成し，看護学の発展と地域社会に貢献することを目的としています。

イ．取得可能資格等

４年間の課程を卒業すると学士（看護学）の学位が授与されるとともに，看護師国家試験受験資格を得ることができます。加えて，必要な科目を修得した場合は保健師/助産師国家試験受験資格も得ることができます（選択制）。また，本学の指定する科目を履修し，保健師免許を取得した場合は，養護教諭二種免許を申請することができます。

ウ．卒業後の進路

卒業後は，看護師，保健師又は助産師として，医療施設，保健施設，行政機関，企業，学校などの場で活躍するのみならず，教育，研究など幅広い分野での活躍が期待されます。

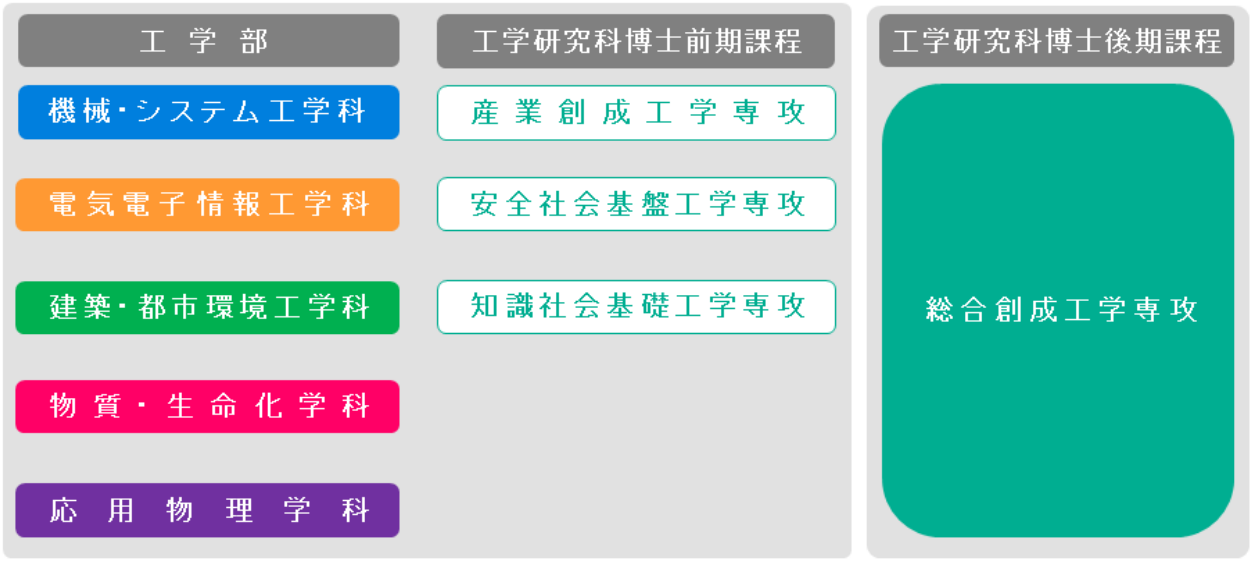
また，大学院に進んで，看護の専門領域の実践能力，研究能力を高め，将来看護の教育，研究，管理，実践の専門家として発展していくことが期待されます。

（３）工　学　部

工学部は，平成28年度に改組を行い，５学科体制で新たなスタートを切りました。本学部は，前身の福井高等工業学校から数えて100年を超える歴史を有し，日本有数の大規模な工学教育研究機関です。工学の殆どの分野を網羅し，日々進化する工学にすばやく対応して，皆さんのどのような期待にも応えることができます。学部学生入学定員は525名，３年次編入学生定員40名の合計565名です。学生の50%以上が進学する大学院工学研究科は，博士前期課程３専攻，博士後期課程１専攻からなり，そこでは，さらに高度な世界水準の教育研究が行われています。全国各地から集まった学生の総数は，現在約3,200名に達し，同じキャンパスで，学科・専攻や学年を超え，お互いに切磋琢磨しながら楽しい大学生活を送っています。

工学部・大学院工学研究科の理念は，Global IMAGINEER の育成，つまり，世界的な視野で（Global）こころに夢を描き（IMAGINE），それをかたちにできる技術者（ENGINEER）として社会に貢献する研究開発能力を備えた高度専門技術者を育成することです。夢を形にするためには，最先端の専門的な知識や技術を習得するだけではなく，常に自らを批判的に省み，自分の能力を高め，創造力を育む必要があります。さらに，社会に貢献するためには，広い教養を身につけ，多くの人と関わる積極性とコミュニケーション能力を磨かねばなりません。そのために工学部には色々な教育プログラムが組まれています。例えば，所属する学科以外の学科の専門科目を履修することも可能です。原子力や経営・技術革新工学について特に系統的に履修した場

合は，その分野を副専攻としたことを認定します。また，工学部先端科学技術育成センターでは最新の設備を整え，学生が学科や学年を超えてグループを構成し，創造的・学際的なモノづくりや調査・研究プロジェクトに取り組むことを支援しています。このような本学部の教育は，大学外の専門家により高く評価されています。



○学位及び教員免許状

工学部の卒業者は学士（工学）の学位が授与されます。また，所定の単位を修得すれば次の教員免許状を取得できます。

学　科　名	高等学校１種
機械・システム工学科	工業
電気電子情報工学科	工業
建築・都市環境工学科	工業
物質・生命化学科	理科
応用物理学科	理科

（４）国際地域学部

少子高齢化やコミュニティの危機等の進行は，地域の中で深刻な課題となっています。

また，経済のグローバル化は地域にも浸透し，企業のグローバルな展開が進むとともに，地方経済の活性化は急務の課題となっています。

今日のグローバル化された社会の抱える課題の多くは，地域・国内・国際という異なるレベルに共通するものであり，それぞれにおいて相互に関わりながら分かちがたく展開しているという性格を持っています。

本学部では，地域の抱える諸課題の解決とそれを担う人材育成を，国際水準の教育で実現します。

○学位

国際地域学部の卒業者は学士（国際地域）の学位が授与されます。なお，教員免許状は取得できません。

３．入学時の諸経費

（１）入学料・授業料

種　別	金　額	備　　考
入　学　料	282,000 円（予定額）	入学時１回限り
授　業　料	年額　535,800 円 （予定額）	年２回（前期５月，後期 11 月）に分けて納入してください。また，申し出により前期分を納入の際に後期分（前期分と同額）も一括して納入することができます。なお，在学中に授業料改定が行われた場合は，改定時から新授業料が適用されます。

入学料・授業料の減免，多子世帯無償化，及び徴収猶予制度について

「大学等における修学の支援に関する法律」により，日本学生支援機構給付型奨学金受給者は，入学料・授業料の全部又は一部が免除となります。

また，国の「多子世帯に対する大学等の授業料等無償化制度」が令和７年度からスタートし，多子世帯（扶養する子どもの数が３人以上）の場合，家計の所得制限なく，入学料・授業料が無償化されます。

さらに，経済的理由や特別な事情により入学料・授業料の納付が困難であると認められる者に対しては，申請により選考の上，入学料及び授業料の徴収を猶予することがあります。

要件等の詳細は，入学手続要項及び本学ホームページ等をご確認ください。

【トップページ＞学生生活・就職＞授業料・奨学金・表彰＞授業料・入学料免除】

https://www.u-fukui.ac.jp/cont_life/money/exempt/

（２）保　険

教育研究活動中の事故を補償するために，入学時に全員が何らかの傷害保険及び賠償責任保険に加入することを原則としています。

本学では，学生教育研究災害傷害保険（通学特約付）及び学研災付帯賠償責任保険の取り扱いがありますが，その他，大学生協等で同等の傷害保険及び賠償責任保険に加入しても構いません。

４．学生生活

（１）奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構，福井大学独自及び都道府県・公益法人等の奨学金制度があります。

○　独立行政法人 日本学生支援機構の奨学金

＜給付型＞

日本学生支援機構が定める基準を満たし，奨学生に採用された場合，「高等教育の修学支援新制度」の支援を受けることができる，原則として返還義務のない奨学金です。学生本人及び父母等の所得金額,資産,父母が扶養する子どもの数に基づき判定された支援区分，通学形態（自宅・自宅外）等により，支援額が決定します。

詳細は下記ホームページにて確認してください。

・文部科学省（高等教育の修学支援新制度）
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm
・日本学生支援機構（奨学金の制度（給付型））
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/index.html

＜貸与型＞

「第一種奨学金（無利子）」と「第二種奨学金（有利子）」があり，経済状況や学業成績をもとに採用者を決定します。

貸与型の奨学金なので，卒業又は退学後は，必ず返還しなければなりません。

詳細は下記ホームページにて確認してください。

・日本学生支援機構（奨学金の制度（貸与型））

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/index.html

○　大学独自奨学金

福井大学基金予約型奨学金，福井大学生協奨学金及び福井大学学生修学支援奨学金等，大学独自の奨学金があります。

詳細は大学ホームページに記載しています。

奨学金の中には，申請期間が入試出願前のものもありますので，希望する場合は，お早めにご確認ください。

・福井大学奨学金ページ

https://www.u-fukui.ac.jp/cont_life/money/scholarship/

・福井大学医学部同窓会「白翁会」國重奨学給付金

※医学部医学科のみを対象とした給付型奨学金です。

「福井大学　白翁会」で検索

「トップページ」→「國重奨学給付金制度」から確認してください。

https://sites.google.com/view/hakuoukai/home

○　都道府県・公益法人等の奨学金

これらの奨学金については，奨学生の募集がある場合に随時，学内のメール配信システム等で案内します。

※奨学金制度等を利用する際に，入学試験の成績や出身学校長から提出された調査書を必要とする場合には，各奨学団体等へこれらの情報を提示する場合があります。

（２）課外活動

正規の教育課程のほかに，学生が豊かな情操を養い，体力を鍛え，将来社会において役立つ経験を積むため，教育の一環として課外活動を認め，かつ，奨励しています。

（３）健康診断・健康管理

学校保健安全法に基づき，学生の定期健康診断を毎年春季に実施しています。

また，日々の健康管理のため，文京キャンパスに保健管理センター，松岡キャンパスに保健センター，敦賀キャンパスに健康相談室があり，身体面・精神面の悩みについて医師，臨床心理士・公認心理師，看護師，保健師等に健康相談をすることができます。

（４）相談窓口

履修，生活，就職，人間関係など学生生活の中でのいろいろな問題について，相談に応じる体制が整っています。

（５）学生宿舎

本学には，次のような学生宿舎があります（外国人留学生との混在で，男女は階別)。

11 月頃に大学のホームページに入居者募集要項を掲載しますので，入居希望者は内容をよく確認し，入居申請準備をしてください。

名　　称	定　員	新入生入居 募集人員	構　造	室定員	寄宿料	光熱水料等	所在地
国際交流 学生宿舎	209 人	約 30 人	鉄筋コンクリート 5 階建 1 棟 4 階建 2 棟	1 人 （個室）	月額 5,800 円	月額 約 10,000 円 退去ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費等 約 20,000 円 （入居時前払い）	〒910-0017 福井市文京 5-13-10 （文京キャンパス から徒歩約 10 分）

※松岡キャンパス及び敦賀キャンパスには，学生宿舎がありません。本宿舎から松岡キャンパスへは交通機関利用で約 50 分，敦賀キャンパスには交通機関利用で約 1 時間 30 分かかります。

※外国人留学生の入居希望者は,国際課へお問い合わせください。

（６）福井大学生活協同組合

福井大学生活協同組合では，入学準備に伴う各種支援（住まい情報（アパート・マンション情報），教科書・教材の案内，生協の加入等）を行っており，生協の資料を希望する入学志願者には，各種資料を送付しております。各種資料に関する請求は以下の方法により申請してください。

① 本学のインターネット出願時に資料請求する

インターネット出願時に「個人情報の入力」の「その他」より，「大学生協への情報提供確認」において「大学生協へ提供する」を選択してください。

② 福井大学生活協同組合のホームページから資料請求する。

・受験生・新入生サポートサイト

https://www.fu-coop.or.jp/newlife/

また，よりよい学生生活のために食堂や購買，書店（教科書等）の福利厚生施設があります。

詳細は，福井大学生活協同組合にお問い合わせください。

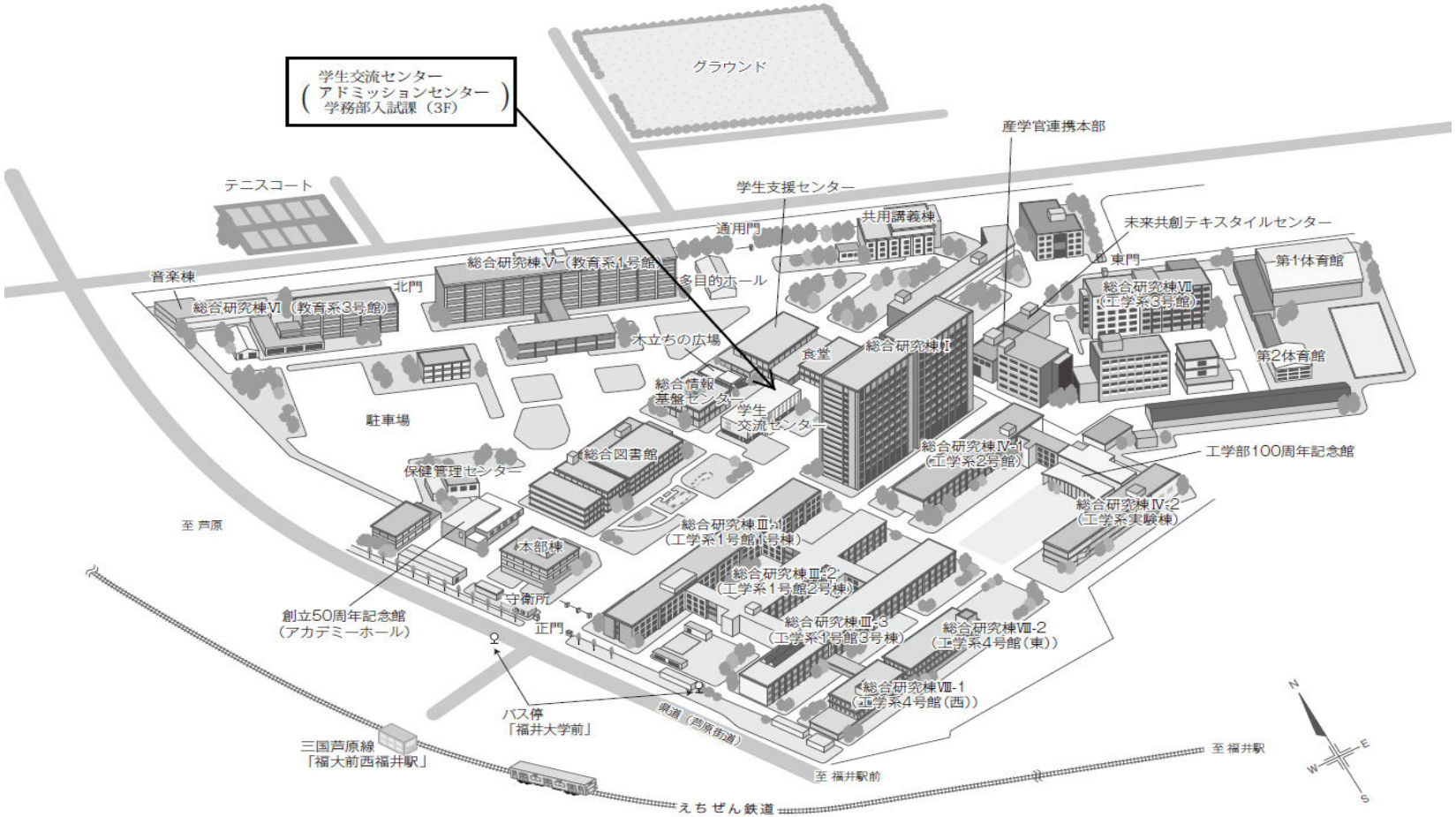
電話 0776-21-2956　（9：00～17：00）土日・祝日を除く

公式 LINE（2027 年度入学者用）　24 時間 365 日受付中（個別相談も順次回答します）

＜福井大学生活協同組合公式 LINE2027＞

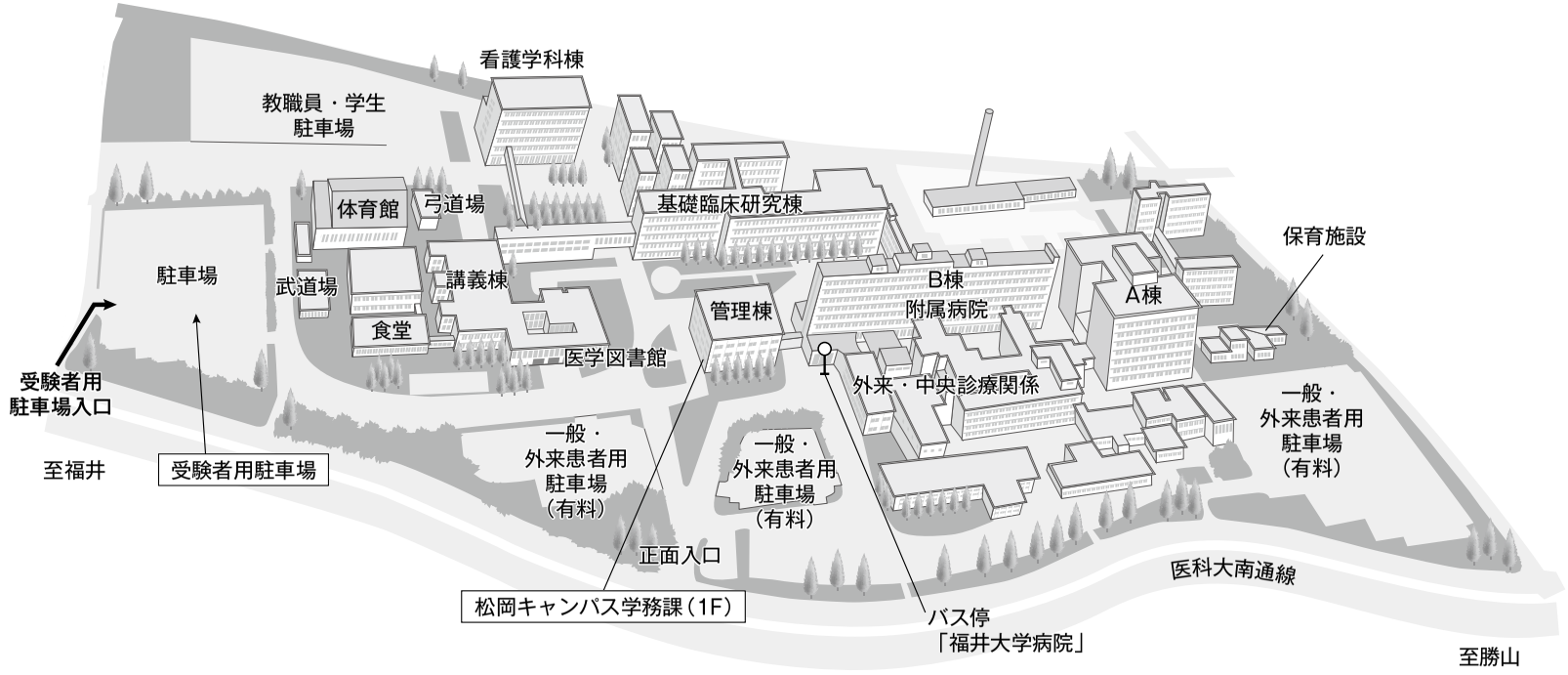
福井大学キャンパス建物配置図

文京キャンパス（教育学部・工学部・国際地域学部）



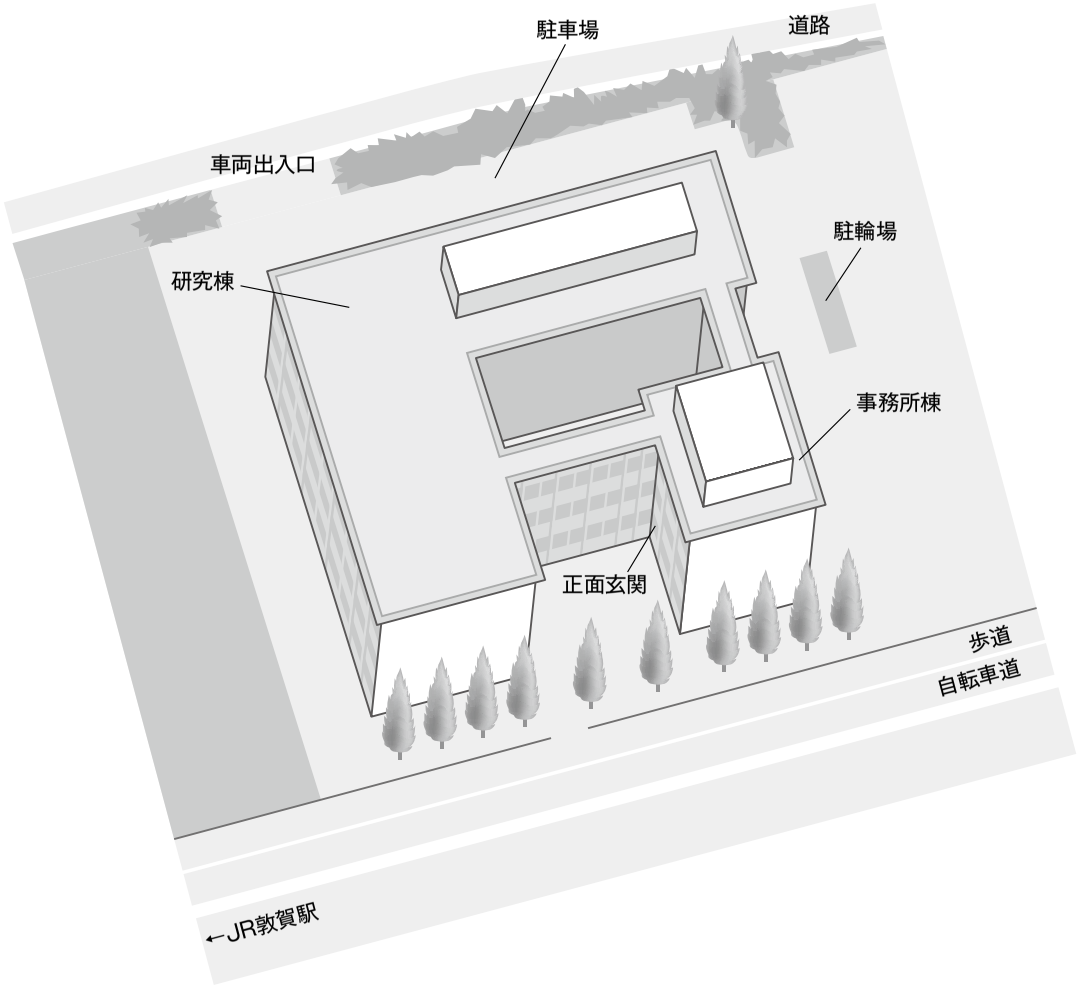
福井大学キャンパス建物配置図

松岡キャンパス（医学部）

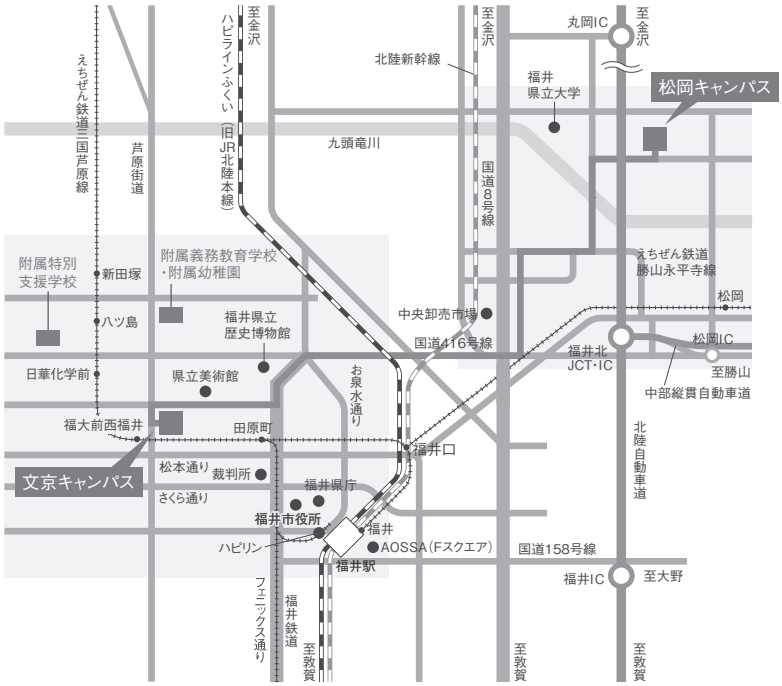


福井大学キャンパス建物配置図

敦賀キャンパス（附属国際原子力工学研究所）



福井大学位置図





■敦賀キャンパス【附属国際原子力工学研究所】への経路

- ●鉄　　道　敦賀駅から徒歩で約３分
- ●北陸自動車道　敦賀 IC から敦賀バイパス国道８号線で約1km、国道476号線で西へ約1km、敦賀街道・国道８号線で南へ約3km

■文京キャンパス【教育学部･工学部･国際地域学部】への経路

- ●バ　　ス　福井駅－(約10分)－福井大学前下車
  [福井駅西口から出て市内バス乗り場２番から]
- ●鉄　　道　えちぜん鉄道福井駅－福大前西福井駅下車
  [福井駅東口から出て三国芦原線で約10分]
  ＊西口前の福井鉄道（路面電車）ではありません。
- ●タクシー　福井駅－(約10分)－福井大学文京下車
  [必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- ●北陸自動車道　福井北JCT・IC から国道416号線で西へ約7km
  福井 IC から国道158号線で西へ約8km

■松岡キャンパス【医学部】への経路

- ●バ　　ス　福井駅－(約35分)－福井大学病院前下車
  [福井駅西口から出て市内バス乗り場１番から]
- ●鉄　　道　えちぜん鉄道福井駅－松岡下車　バスに乗り換え約５分
  [福井駅東口から出て勝山永平寺線で約20分＋バス]
  ＊西口前の福井鉄道（路面電車）ではありません。
- ●タクシー　福井駅－(約30分)－福井大学松岡下車
  [必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]
- ●北陸自動車道　福井北JCT・IC から北へ約4km、又は丸岡 IC から南へ約5km
  ※標識・バス停の福井大学病院は「福井大学医学部」の位置を指します。

福井へのアクセス

大阪・京都方面から

- 電車で　大阪･京都－湖西線経由－福井
  (特急・新幹線で，京都から約1時間15分，大阪から約1時間45分)
- 自動車で　大阪･京都－<名神>－米原JCT－<北陸>－福井･福井北JCT・IC
  (京都から約2時間，大阪から約2時間30分)
- 高速バスで　大阪･京都－<名神･北陸>－福井
  (京都から約2時間30分，大阪から約3時間30分)

名古屋・静岡方面から

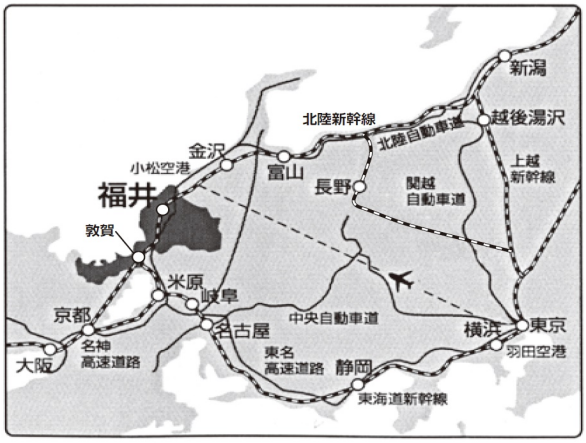
- 電車で　名古屋･静岡－米原経由－福井
  (名古屋から新幹線･特急で約1時間30分)
- 自動車で　名古屋－<名神>－米原JCT－<北陸>－福井･福井北JCT・IC
  (約2時間)
- 高速バスで　名古屋－<名神･北陸>－福井(約2時間50分)

東京方面から

- 飛行機で　東京羽田－小松空港(１時間)－福井(連絡バス１時間)
- 電車で　東京－福井(新幹線約２時間50分)（直通）
  東京－米原経由－福井(新幹線・特急約３時間30分)
- 自動車で　東京－<東名･名神>－米原JCT－<北陸>－福井･福井北JCT・IC
  (約６時間30分)

金沢・新潟方面から

- 電車で　金沢･新潟－福井(金沢から新幹線で約20分)
- 自動車で　金沢－<北陸>－丸岡－福井北JCT・IC(約１時間)



＜入試に関する問い合わせ先＞

福　井　大　学

学務部入試課

文京キャンパス（教育学部・工学部・国際地域学部）

〒910-8507　福井県福井市文京3-9-1

電話　０７７６－２７－９９２７

メール　g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp

学務部松岡キャンパス学務課

松岡キャンパス（医学部）

〒910-1193　福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

電話　０７７６－６１－８８３０

メール　m-nyushi@ml.u-fukui.ac.jp

＜注意＞

・入試に関するすべての事項は，志願者本人がこの入学者選抜要項及び各学生募集要項を熟読することによって，必ず本人の責任で確認してください。

・受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は，本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。

【福井大学ホームページ　https://www.u-fukui.ac.jp/】

・福井大学　スマホ・携帯電話サイト
本学のオープンキャンパス情報，資料請求方法，一般選抜出願状況速報などの各種情報を携帯電話で閲覧できます。

【携帯電話サイト　http://daigakujc.jp/u-fukui/】

＜スマホ・携帯電話サイト＞

・電話での照会は，祝日及び年末年始を除く，月～金曜日の9:00～17:00に，この入学者選抜要項を参照の上，必ず志願者本人が行ってください。